シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	保育原理	担 当	佐藤 みつよ (実務経験者)		
			幼稚園に教諭として勤務		
【授業の概要】					
「保育とは何か」、保育所、幼稚園、認定こども園の保育(教育)の基本を説明する。また、保育者の仕事がどのように位置づけられ、何が期待されているのか考え、理解させる。					
【授業の到達目標】					
保育の理念・役割・制度・実践を、保育所保育指針をふまえ、理解する。					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育について		保育の理念、保育所と保育士の社会的役割と責任		
2	子どもと保育に関する法令(1)		子ども家庭福祉における保育と関係法令		
3	子どもと保育に関する法令(2)		子ども・子育て支援新制度		
4	保育所について学ぶ(1)		保育所保育指針とは、保育所の目的と役割		
5	保育所について学ぶ(2)		保育所保育の目標、保育における養護		
6	保育所について学ぶ(3)		保育に関わるねらい及び内容、小学校との連携		
7	幼稚園について学ぶ		幼稚園教育の目的、目標、保育方法の基本原則		
8	幼保連携型認定こども園について学ぶ		幼保連携型認定こども園の目的、目標、内容		
9	保育所保育の方法		環境を通して行う保育、保育所保育の方法		
10	保育の計画と評価		保育の計画、保育の過程、部分実習指導案		
11	子どもの理解に基づく保育		子どもの発達過程の理解と保育、個人差に応じた保育		
12	地域社会で行う子育ての支援		各施設や地域の人たちによる子育て支援		
13	障害児を受け入れる保育		障害児保育について、保護者及び関係機関との連携		
14	保育の歴史		幼児教育・保育をめぐる動向、教育・保育思想		
15	日本の保育の現状		子ども・子育て支援新制度の誕生、幼保一元化		
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査60点、提出物・受講姿勢40点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
岡田耕一(編著)『保育原理 子どもの保育の基本理論の理解』萌文書林、2019 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	子どもの保健	担当	片倉 孝子 (実務経験者) 病院に看護師として勤務		
【授業の概要】					
子どもの命を守り、健やかな育ちを支える為に必要な医学的知識を理解し、適切な判断ができる保育者になれるよう基本的な知識と対応技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の成長と発達を理解する。 ・子どもの健康状態の把握、主な症状が理解できる。 ・子どもの主な疾患の特徴が理解できる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子どもの生命・情緒の安定、保健活動の意義と目的	保育の対象となる子どもを理解し、生命の保持・情緒の安定を考える			
2	健康の概念と健康指標	健康の概念とヘルスプロモーション「QOL」について考える健康を理解するための指標の理解			
3	子どもの健康と母子保健対策	母子保健対策と医療対策の理解			
4	地域における保健活動・虐待防止	母子保健、成人保健、高齢者保健、感染症対策、学校保健の概要、児童虐待とは			
5	身体発育および運動機能の発達と保健	子どもの発達過程「身体発育運動機能の発達」			
6	生理機能の発達と保健	循環機能、消化機能、腎機能の解剖学と疾病との関連について理解する			
7	健康状態の観察および心身の不調の早期発見	子どものバイタルサイン、症状の理解ができる			
8	発育・発達の把握と健康診断	個々の発育、発達の確認、チェック方法を獲得し子どもの発達支援につなげる			
9	保護者との情報共有	「気づき」のズレが無いよう保護者とのコミュニケーションの取り方を学ぶ			
10	子どもの主な疾病の特徴①	新生児の病気の特徴、先天性疾患の特徴の理解			
11	子どもの主な疾病の特徴②	循環器、呼吸器、血液、消化器の病気の特徴の理解			
12	子どもの主な疾病の特徴③	アレルギー、免疫、腎泌尿器、内分泌の病気 アナフィラキシーショックの対応が実践できる			
13	子どもの主な疾病の特徴④	脳の病気、その他の病気の特徴の理解			
14	子どもの主な疾病の特徴⑤	感染症の理解、スタンダードプリコーションの理解			
15	子どもの主な疾病の予防と適切な対応	感染経路を理解し対応を適切に行うための知識の理解			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査80点、授業態度20点により評価。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)松田博雄・金森三枝(編)『新基本保育シリーズ⑪ 子どもの保健』中央法規、2019					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(健康Ⅰ)	担 当	工藤 冴		
【授業の概要】					
乳幼児の身体の発達や運動発達を理解させると共に、領域「健康」の視点から健康な生活の基盤をどう育てていけばよいか学びを深める。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらい及び内容、内容の取扱いについて理解する。 ・乳幼児の身体の発達や運動発達について理解する。 ・子どもの健康について理解を深めるとともに自らの健康も振り返ることができる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	授業の進め方、成績評価の方法などについて			
2	子どもの健康な育ちの保障	育てられる者から育てる者へ、子どもらしい子どもとは			
3	健康な子ども、元気な子どもの姿とは	赤ちゃんの体型のイメージ、子どもの身体の特徴と保育の視点			
4	生涯各時期の健康観	各ステージにおける健康観、その時期に求められる体力			
5	現代っ子の健康課題とその背景	全面発達の保障、子どもの健康をとりまく現状			
6	生活リズムの獲得	生活リズムの獲得、自分の生活リズムの確認			
7	恒温の獲得	恒温動物とは、低体温児の原因			
8	五感の獲得	五感のはたらき、五感の発達のプロセス			
9	DVD『風のなかで』鑑賞	冒険遊び場について、自然の中で学ぶこと			
10	発達の概要と援助	気づく習慣を身につける、発育・発達の構成要因			
11	子どもの身体の発達	骨格・体格・生理機能の発達			
12	子どもの運動発達	運動発達の方向性、子どもの体力			
13	DVD『赤ちゃん◇運動発達の神秘◇』鑑賞	運動発達について、幼児期運動指針			
14	脳の発達	脳の発達の要件と概念形成、子どもとディスプレイ機器			
15	まとめ	授業のまとめ、振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査70点、受講態度・提出物30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
井狩芳子(著)『演習 保育内容「健康」第2版－大人から子どもへつなぐ健康の視点』萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(環境Ⅰ)	担 当	久保田 貴子 (実務経験者)		
			幼稚園に教諭及び園長として勤務		
【授業の概要】					
<p>養護及び教育を一体的に行うことを特性とする保育所保育で育みたい資質・能力は、保育活動全体で培われることを理解した上で、領域「環境」の視点から、発達過程における保育内容や保育者の行う環境の構成や援助について具体的な事例を通して学びを深める。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」のねらい、内容、内容の取扱いについて理解する。 ・身近な環境と子どもとの具体的な姿から、様々な環境の意義について理解する。 ・子どもが環境とかかわる具体的な保育場面での保育者の役割を理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	幼児期の教育の基本		「見方・考え方」の育ち、育みたい資質・能力		
2	乳幼児の育ちと領域「環境」		領域「環境」のねらい・内容、保育者の役割		
3	乳児、1～2歳児の世界と環境		環境の意味、養護と教育の一体性		
4	自然環境への関わり①		自然体験、身近な自然素材との関わりの意味、環境構成や援助		
5	自然環境への関わり②		植物や動物との関わりを通しての育ち、環境の構成や援助		
6	子どもの遊びを考える① グループワーク		子どもの興味・関心、保育者の役割		
7	ものや道具との関わり①		遊具、身近なものとの関わりの意味や学び、保育者の援助		
8	ものや道具との関わり②		遊具、身近なものとの関わりの意味や学び、保育者の援助		
9	子どもの遊びを考える② グループワーク		教材研究、環境の構成、援助について		
10	子どもの遊びを考える③ グループワーク		グループごとに発表、意見交換		
11	文字や標識、数量や図形への関心		文字や数量・図形等への感覚を育む環境構成や援助		
12	遊びや生活の情報への興味、地域への親しみ		身近な情報、異年齢児の交流、地域・日本文化との触れ合い		
13	子どもの遊びを考える④ グループワーク		環境の構成、活動の流れ、援助について		
14	子どもの遊びを考える⑤ グループワーク		グループごとに発表、意見交換		
15	まとめ		授業のまとめ、振り返り		
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査70点、受講態度・グループワークの取り組み・提出物等30点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>無藤隆(監)福元真由美(編者代表)『事例で学ぶ保育内容〈領域〉環境』萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018</p>					
【参考書】					
<p>随時指示する。</p>					
【備 考】					
<p>乳幼児期の子どもを取り巻く環境の変化や遊びの状況等に関心を持ち、情報の収集に努めましょう。</p>					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(表現Ⅰ)	担 当	梶原 礼 (実務経験者) 幼稚園に教諭として勤務		
【授業の概要】					
乳幼児の遊びや生活、表現の特徴、発達の姿、それを促す保育者の役割等について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「表現」のねらい、内容、内容の取扱いについて理解する。 ・乳幼児の表現の特徴や表現の発達、それを促す要因について理解する。 ・さまざまな事例を通して、豊かな感性や表現する力、及び、その基礎を培うための保育者の役割について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	幼児教育の基本①	幼児教育の捉え方			
2	幼児教育の基本②	環境を通しての保育、遊びを通しての総合的な指導			
3	幼児教育と領域「表現」①	領域「表現」のねらい及び内容 乳児、1歳以上3歳未満児			
4	幼児教育と領域「表現」②	領域「表現」のねらい及び内容 3歳以上児			
5	乳幼児期の発達と表現①	豊かな表現を支える援助や環境 乳児、1歳以上3歳未満児			
6	乳幼児期の発達と表現②	豊かな表現を支える援助や環境 3歳以上児			
7	生活のなかにあるものをあじわい、感性を養う	色、形、歌、動き、手触り、共にあじわい表現する			
8	自然やものの美しさに触れる	自然の美しさに触れる、飾る・変身する、あこがれる、夢中になる			
9	コミュニケーションとしての表現	まねる、見せる、友だちを受け止める、話し合う			
10	保育者が支える表現①	表現を支える保育者の基本的なあり方			
11	保育者が支える表現②	豊かな表現を支える援助や環境について			
12	子どもの豊かな感性と音楽表現	乳幼児にとっての音楽表現とは			
13	子どもの豊かな感性と造形表現	乳幼児にとっての造形表現とは			
14	領域「表現」の現代的課題と新たな試み①	現代における「表現」の問題			
15	領域「表現」の現代的課題と新たな試み②、まとめ	表現の評価、授業の振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査70点、提出物・受講態度30点により判断する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
浜口順子(編)『新訂 事例で学ぶ保育内容<領域>表現』萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	音楽表現Ⅰ	担当	渡邊 砂子		
【授業の概要】					
乳幼児の音楽的発達や生活と音楽との関わり、自然で美しい発声による歌唱表現のための基礎的な知識・技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として自然な声の出し方・歌い方を身に付ける。 ・童謡やわらべ歌、歌曲等をとおして、曲のよさや特徴を生かした歌い方の工夫をすることができる。 ・アンサンブル曲をとおして指揮の方法やまとめ方について学ぶ。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	歌唱表現の基礎①発声	声の仕組み・発声法について、声域調査1 子どもの音楽的表現活動			
2	歌唱表現の基礎②音程の取り方	正しい音程の取り方・歌い方について(3度～7度音程)			
3	歌唱表現の基礎③旋律の歌い方	長調の旋律の歌い方(ハ長調・ト長調・ヘ長調)			
4	歌唱表現の基礎④旋律の歌い方	短調の旋律の歌い方(イ短調)			
5	歌唱表現の基礎⑤言葉の伝え方	歌詞の意味や曲の背景を理解し、言葉の伝え方を考える 日本の幼児教育の歴史と変遷			
6	四季の歌(春・夏)の表現の工夫	日本の季節の歌のよさを味わいながら工夫して歌う 「春がきた」「うみ」他			
7	四季の歌(秋・冬)の表現の工夫	日本の季節の歌のよさを味わいながら工夫して歌う 「もみじ」「冬げしき」他			
8	童謡・わらべうたの表現の工夫	童謡・わらべうたを工夫して歌う「アメフリ」「七つの子」他 子どもの歌唱表現			
9	あそび歌の表現の工夫	絵かき歌を楽しく工夫して歌う			
10	日本歌曲の表現の工夫	日本の歌曲のよさを味わい表現を工夫して歌う 「早春賦」「里の秋」「花」他			
11	世界の歌曲の表現の工夫	世界の歌曲のよさを味わい表現を工夫して歌う 「野薔薇」「いとしい人よ」他			
12	アンサンブルの工夫①	輪唱の楽しさ、ハーモニーの美しさを味わう 指揮の仕方を学ぶ			
13	アンサンブルの工夫②	二重唱・二部合唱の歌い方を工夫する 指揮の仕方を学ぶ			
14	アンサンブルの工夫③	三重唱・三部合唱の歌い方を工夫する 指揮の仕方を学ぶ			
15	まとめ	声域調査2、授業のまとめ、振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
表現技術70点、授業態度30点により評価。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
荒井弘高・中尾かつ江・三沢大樹(編著)『歌唱の基礎』圭文社、2017 高御堂愛子・植田光子・木許隆(監修・編著)『保育者をめざす 楽しい音楽表現 第2版』圭文社、2017 鈴木恵津子・富田英也(監修・編著)『改訂 ポケットいっぱいうた』教育芸術社、2017					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備考】					

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	造形表現 I	担 当	工藤 祐子		
【授業の概要】					
ワークシートによる演習を通して、造形表現の指導に必要な資質や能力を身に付けさせる。また、子どもの描画理解を深めさせ、発達段階に応じた造形指導ができるよう教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針の内容や造形指導に関する事項を演習を通して理解する。 ・表現及び鑑賞の発達段階や幼児期の個性的表現を理解する。 ・表現及び鑑賞の経験から知識・技能、発想・構想力を養う。 ・保育の造形指導にふさわしい教材や指導方法を研究することができる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	テキストを使用し、これからの学習の目標、方法、計画を知る。			
2	紙芝居DE自己紹介①	課題を理解して、アイデアスケッチを描く。			
3	紙芝居DE自己紹介②	技法や仕掛けなど表現方法を工夫して、制作をすすめる。			
4	紙芝居DE自己紹介③	伝えたい内容を明確に表現できているか確認しながら制作を進める。			
5	紙芝居DE自己紹介④	制作した紙芝居で自己紹介をし、互いの発表を鑑賞し、それぞれの良い点を言葉で表現する。			
6	子どもの描画理解—発達段階を知る—	資料を用いて子どもの表現について考え、ふさわしい言葉掛けの方法を話し合う。発達段階を理解し、適切な描画材料について考える。			
7	絵の具で遊ぼう—モダンテクニク—①	モダンテクニクの技法理解とその演習。			
8	絵の具で遊ぼう—モダンテクニク—②	モダンテクニクの演習作品とその名称、技法内容を指導資料としてまとめる。応用の方法、発達段階に応じた指導方法について研究する。			
9	きみもアーティスト—モダンテクニク—③	モダンテクニクの技法を用いて自由な発想で制作を行う。制作を通して発達段階に応じたモダンテクニクの活用についてまとめる。			
10	色と構成で表す感情やイメージ①	色のイメージを理解し、画面構成の配置の良さに気付く。			
11	色と構成で表す感情やイメージ②	色のイメージを理解し、画面構成による様々な感情を表現する。			
12	表紙からはじまる世界①	造形ノートの表紙を目的をもったデザインとしてアイデアスケッチする。			
13	表紙からはじまる世界②	アイデアスケッチをもとに身近な材料を工夫して使い、自己のイメージを表現する。			
14	表紙からはじまる世界③	完成後は互いの作品を鑑賞し、良い点などを言葉で表現する。			
15	造形ノートのまとめ	ワークシートや表現課題を「造形ノート」に視覚的にわかりやすくまとめ、自己評価表を記入する。			
【成績評価の方法と基準】					
演習作品70点、授業への取り組み(関心・意欲・態度)や造形ノート(学習内容の記録・考察・鑑賞)30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
北沢昌代・畠山智宏・中村光絵(著)『子どもの造形表現 第2版 -ワークシートで学ぶ-』開成出版、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備 考】					
事前に必要な用具や準備物を連絡するので忘れないように注意する。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	総合表現 I	担当	渡邊 繁治		
【授業の概要】					
パネルシアターなどの制作や実演を通して、生の語りの楽しさを伝える。また多くの絵本や児童書、参考書を読むことで知識が深まるよう教授する。					
【授業の到達目標】					
児童文化財(パネルシアター、絵本、牛乳パックシアターなど)を作ったり実演したりする中で、子どもの情操を育む手立てを知る。					
【授業の計画】			【内容】		
1	児童文化とは(講話と実演)	パネルシアターを観て興味関心を持ち演じてみたい・作ってみたいという意欲を膨らませる。授業の内容や到達目標及び評価基準について説明する。			
2	パネルシアター:基礎講座	パネルシアターに関する基礎的な内容を知る。			
3	パネルシアター:パネルボードの制作	マイパネルボードを制作する。			
4	パネルシアター:絵人形の制作	課題作品の中から選んだ作品をグループごとに制作する。			
5	パネルシアター:絵人形の制作	課題作品のグループ制作を行う。			
6	パネルシアター:演じ方・発表練習	課題作品のグループ制作および実演練習をする。			
7	パネルシアター:発表練習、発表	実演練習及び発表をし意見交換を行う。			
8	読み聞かせ	読み聞かせについての実演と講話を行い体験する。			
9	読み聞かせ	自分が準備した絵本の読み聞かせの練習をする、グループ内で発表とディスカッションをする。			
10	牛乳パックシアター	牛乳パックシアターについての実演を見て制作する。			
11	牛乳パックシアター	牛乳パックシアターの制作と発表をする。			
12	公演に向けて:発表練習・舞台作り&音響	公演の方法について知り準備と公演に向けての練習をする。			
13	公演に向けて:発表練習・準備	公演に向けての準備と練習をする。			
14	公演(課外授業)	えのくま幼稚園での公演をする。			
15	公演の振り返り(感想文)	公演の振り返りとして感想文を書く。前期のまとめ			
【成績評価の方法と基準】					
授業への取り組み(関心・意欲・態度)40点、自主公演での発表や態度20点、製作課題20点、学びについてのレポート20点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
古橋和夫(編)『保育者のための言語表現の技術 2版』 萌文書林、2016 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
古宇田亮順・松家まきこ・藤田佳子(著)『実習に役立つパネルシアターハンドブック』 萌文書林 弘前ひさし(著)『リサイクルでつくってあそぼう 牛乳パックシアター』 アド・グリーン企画出版 福尾野歩(監)『あそびうた大全集』 クレヨンハウス					
【備考】					

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	音楽 I	担 当	渡邊 砂子		
【授業の概要】					
音楽の基礎知識を学び、リズム表現や創作活動を通して、保育者に求められる音楽表現技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に求められる音楽の基礎知識を理解する。 ・子どもの情操や感性を豊かにするため、いろいろなリズム表現を工夫することができる。 ・音楽を創作する力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	楽譜のしくみや楽譜の歴史	楽譜上の記号等の名称や意味、読み方			
2	ピアノの特徴や奏法の基本	ピアノの構造やペダルの使い方、ピアノの役割			
3	いろいろなリズムや拍子	音符・休符の理解、単純表と複合拍子、リズムの理解			
4	音名、階名、諸記号	音名と階名の違い、反復記号の意味と使い方			
5	音程、音階と調	音程の種類、長音階と短音階の構成、調の種類と見分け方			
6	楽曲の形式	基本的な楽曲構成についての理解			
7	主要三和音とコードネーム	三和音のしくみと種類、主要なコードネーム			
8	移調・移旋・転調と演奏記号	移調・移旋の方法と奏法、転調の種類、演奏記号の意味			
9	リズム表現①	ボディパーカッションでリズム表現を楽しむ			
10	リズム表現②	ボディパーカッションでアンサンブルを楽しむ (グループ発表)			
11	リズム表現③	ボイスアンサンブルを楽しむ(グループ発表)			
12	言葉から歌づくり	身近な言葉を音やリズムで表現する			
13	旋律創作①	自分の好きな言葉や短い詩に作曲する			
14	旋律創作②	自分の好きな言葉や短い詩に作曲する			
15	旋律創作③	自分の創作した曲を発表し合う。授業のまとめ、振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
表現技術70点、授業態度30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
今泉明美・有村さやか(編著)『子どものための音楽表現技術－感性と実践力豊かな保育者へ－』萌文書林、2018					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	器楽 I	担 当	関 純子 米田 昌子 田北嘉奈子 安部 千鶴		
【授業の概要】					
保育に必要な音楽教育のために、テキスト教材を使った個人授業を行い、ピアノの演奏技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に求められるピアノの演奏技術と音楽表現の基礎を身に付ける。 ・子どもの歌を曲の表情に合わせて表現する力を身に付ける。 ・子どもの表情や動きに合わせて演奏する力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ハ長調の音階	大譜表、音部記号、拍子記号、音名と鍵盤の関係の理解			
2	ハ長調の音階、1番	音階の運指と流れ、全音・半音の理解			
3	1、22番、「手をたたきましょう」	右手♪のリズム、左手和音(I V ₇)の理解			
4	22、23番、「手をたたきましょう」	左手和音 I、V ₇ の音型(密集、分散)の理解、音符や休符の正しい捉え			
5	51番、「手をたたきましょう」、「シャボン玉」	3/4拍子の捉え方、付点音符や♪のリズム、1オクターブの跳躍			
6	51、「シャボン玉」、「こげよ マイケル」	タイとレガートの理解、付点8分音符と16分音符のリズム、デュナーミク			
7	42番、「シャボン玉」、「おべんとう」、「こいのぼり」	左手の伴奏形の変化、コードネームの理解			
8	53番、77番、「おべんとう」「かえるのがっしょう」「GoodMorning」	6/8拍子の捉え方、右手の6度の音程と左手の分散和音			
9	53番、48番、「大きなくりの木の下で」	レガート奏、ドルチェ、デュナーミク、A-B-Aの楽曲の流れ 曲の盛り上がり			
10	53番、「大きなくりの木の下で」「かたつむり」	左手和音の移動をスムーズに、力まずに弾く			
11	69番、「むすんでひらいて」、「かもつれっしゃ」	フレーズ感を演奏に生かす、半音階と臨時記号			
12	69番、82番、「むすんでひらいて」「お正月」	外声の動きを感じて、3度の重音の移動とアクセント、左手の保持音			
13	54番、「お正月」「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」	ハ長調の移調、曲の組み立て、テンポ感や表現する力を身に付ける			
14	54番、「おもちゃのチャチャチャ」「バスごっこ」	拍子やフレーズ感、左右の音量バランスを意識する 試験の課題曲を中心に前期学んだ内容を振り返る			
15	前学期の課題の復習・まとめ	課題曲で行う実技試験 休暇中の課題			
【成績評価の方法と基準】					
<p>課題曲で行う実技試験70点、授業時の実技評価及び授業態度30点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>大学音楽教育研究グループ(編著)『教職課程のための 大学ピアノ教本 バイエルとツェルニーによる展開』教育芸術社、2014 鈴木恵津子・富田英也(監修・編著)『改訂ポケットいっぱいのおうた 実践こどものうた 簡単に弾ける144選』教育芸術社、2017</p>					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	乳児保育Ⅰ	担当	協 輝美 (実務経験者)		
		病院に看護師として勤務			

【授業の概要】

乳児が人格の基礎を形成していくにあたって、人的環境として保育士や保護者が子どもに与える影響は大きい。保育士の業務として保護者支援もあるので、保育士は保育の専門性を支える人間性を磨くことが求められる。多くの専門職が協働する乳児保育が行われている保育所以外の機関にもふれ、乳児保育の現状と課題について理解させる。

【授業の到達目標】

- ・保育所及び保育士の役割について学び、子どもの保育、保護者に対する子育て支援について理解する。
- ・乳児保育とは何か、この時期の養護と教育の一体性、発達過程と援助・配慮、子育て支援等について理解する。
- ・子どもの最善の利益を考慮し、環境による保育を行うために、保育士は専門性を支える人間性を磨き、チームで進める保育が重要であることを学ぶ。

【授業の計画】		【内 容】
1	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷	乳児とは、乳児保育とは、乳児保育の歴史
2	乳児保育、子育て支援をめぐる社会的状況と課題	子育て家庭の状況を知り、保育士の果たす役割を考察
3	保育所における乳児保育①	0歳児。1歳児・2歳児保育の特徴を学ぶ
4	保育所における乳児保育②	保護者と信頼関係を築き方、地域の力を支える方法を考察
5	保育所以外における乳児保育	乳児院・地域型保育における乳児保育の特徴と課題
6	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育	地域型保育の必要性とそこでの保護者との関係性を考察
7	3歳児未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援	事例を通して、親子の居場所づくりにおける保育士の役割を考察
8	3歳未満児の生活と環境	保育環境が子どもに与える影響について考える
9	3歳未満児の遊びと環境	環境を通して行う保育、0歳児の遊び環境、遊び(学び)環境の整え方
10	3歳以上児の保育に移行する時期の保育	移行の展開、この時期の養護と教育、この時期の保育の配慮
11	3歳未満児の発育・発達をふまえた援助やかかわり	3歳児未満児の保育の原則、養護と教育の一体化、発達過程と援助・配慮
12	3歳未満児の発育・発達をふまえた配慮	共通する配慮(健康・安全・情緒の安定、担当保育士が替わる時)
13	乳児保育の計画・記録・評価とその意義	全体的な計画、指導計画と保育実践、記録と保育の質の向上
14	職員間の連携・協働	保育士の業務、専門性を支える人間性、チームで進める保育
15	保護者・自治体や地域の関係機関との連携・協働	子育て支援の基本、「保育の専門性」を活かした保護者支援

【成績評価の方法と基準】

前学期定期考査80点、レポート20点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。
 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D

【テキスト】

児童育成協会(鑑)寺田清美・大方美香・塩谷香(編)『新基本保育シリーズ⑮ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ』中央法規、2019
 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018

【参考書】

随時指示する。

【備 考】

- ・『保育所保育指針解説』を自分なりのペースで読み込み、必ず読破する。
- ・復習に力を入れて、習ったこと・学んだことを常に確認する。
- ・クラスやグループで意見交換や関連資料の提示を活発に行い、学びを共有し合う。

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 通年(前期)	専門科目	必修	通年2単位 前期30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実習指導Ⅰ	担当	江良 愛子(実務経験者) 安東 和子 佐藤 みつよ(実務経験者) 梶原 礼(実務経験者)		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務 幼稚園に教諭として勤務 幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
保育所及び保育所以外の児童福祉施設での実習を円滑に進めるため、その役割や機能、実習の心構え等について学び、保育実習ⅠA(保育所)・ⅠB(施設)に備えさせる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 ・実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ・事前訪問の意義や目的、心構えやマナーを理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	保	保育実習の概要・実習に必要な事務手続き	実習の意義・目的・内容・一年間の流れを理解する。		
2	保	実習施設希望調査書の提出	実習受入れ内諾済み園より希望園を選択する。 ※		
3	施	施設実習の目的と内容①	施設実習の概要、目的と内容等を理解する。		
4	保	実習園の調整	実習園の仮決定 ※		
5	施	施設実習の目的と内容②	社会福祉施設の社会的役割と現状を学ぶ。		
6	保	実習受入れに対するお礼の電話	電話のかけ方を学び個別に電話をかける。 ※		
7	施	施設実習の目的と内容③	施設実習における実習生としての心構えを理解する。		
8	施	実習施設の概要①	乳児院・児童養護施設・児童自立支援施設について学ぶ。		
9	施	実習施設の概要②	児童心理治療施設・母子生活支援施設・障害児入所施設等について学ぶ。		
10	保	実習園の概要・特色等について	保育方針や保育目標、入所定員やクラス編成等を調べる。 ※		
11	施	実習施設希望調査書の提出	施設実習受入れ内諾済み施設より希望する施設を選択する。		
12	施	実習施設の決定とお礼の電話	実習施設を決定し、お礼の電話をかける。		
13	保	関係法令や保育所保育指針、児童憲章	保育士にかかわる法令のポイントを確認する。 ※		
14	保	「プロフィール」原案作成	自己紹介及び実習の課題を書く。 ※		
15	施	「プロフィール」原案作成	自己紹介及び実習の課題を書く。		
【成績評価の方法と基準】					
課題提出・配布資料の整理70点、受講態度30点、前学期・後学期の成績を平均し、通年で評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
【備考】					
「内容」欄の※は、手遊びや絵本の読み聞かせ等を順番に実践しますので、各自練習しておくこと。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	英語 I	担 当	瀬口 珠美		
【授業の概要】					
以下の活動を通して、外国語学習の基礎力を育成するとともに表現力を高めるよう教授する。 1. 基本文法の確認、問題演習 2. 発音練習、音読練習、英作文、発表 3. テキスト通読、語句の確認、概要把握、音読練習、問題ノート					
【授業の到達目標】					
・基礎的な文法事項を理解し、平易な語句・構文を用いて、自分の考えや伝えたいことを表現できる。 ・ニュースで取り上げられた様々な現代社会の事象に触れ、保育に欠かせない多様な価値観への興味関心を高め、人間理解の幅を広げる。					
【授業の計画】			【内 容】		
1	オリエンテーション	授業の進め方説明			
2	つづりと音の関係、母音、子音の発音、基本文法①	ローマ字との区別、母音、子音の発音練習、主な品詞と文の要素			
3	基本文法②、英文読解の下準備	句と節の概略、パラグラフの基本構成			
4	基本文法③、1.“Smiling Cinderella” Shibuno Hinako	基本的な語順(文型)、語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
5	基本文法④、1.“Smiling Cinderella” Shibuno Hinako	基本文法、語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
6	基本文法⑤、1.“Smiling Cinderella” Shibuno Hinako	基本文法、語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
7	基本文法⑥、2.The Haka and the All Blacks	基本文法、語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
8	基本文法⑦、2.The Haka and the All Blacks	基本文法、語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
9	2.The Haka and the All Blacks	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
10	3.“VTuber” Kimino miya	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
11	3.“VTuber” Kimino miya	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
12	3.“VTuber” Kimino miya	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
13	4 The Hakone Ekiden	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
14	4. The Hakone Ekiden	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
15	4. The Hakone Ekiden	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート、総合問題			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査60点、授業時の活動への参加状況や受講態度20点、課題への取り組み20点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
浜島書店編集部(編)『Watching Light 2020-2021』浜島書店 文法学習プリント、英文記事の抜粋 等 ※授業時に配布					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					
英和辞典、ノート2冊(A4サイズが望ましい)、糊、ファイルを用意すること。(糊、ファイルはプリントを整理するため)					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 前期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	保健体育 I	担当	工藤 冨		
【授業の概要】					
自己の健康について考えさせるとともに、健康を維持・増進するために必要な運動やストレスの対処法について、基本的な知識を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の身体や健康について理解する。 ・運動の必要性や方法を理解し、説明できる。 ・事故が起きた際、対処できるようになる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	授業内容について、自分自身の運動習慣について考える			
2	健康な生活とは	健康の捉え方について			
3	生活習慣病と関連する要因	生活習慣病について			
4	体力とは何か	体力の定義について			
5	運動のしくみ	運動の仕組みについて			
6	トレーニングとは	トレーニングの方法について			
7	健康を維持・増進するための運動	有酸素運動について			
8	ダイエットの計画	ダイエットについて			
9	運動と水分補給の関係	体温調節の仕組みや熱中症について			
10	ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップなどについて			
11	応急手当とは	応急手当の基本			
12	スポーツと心理の関わり	スポーツの心理的効果について			
13	薬物乱用や喫煙	薬物乱用や喫煙、飲酒と健康の関係について			
14	ストレスへの対処法	ストレスについて、ストレスの対処法について			
15	まとめ	スポーツを身近に考える、まとめ			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査70点、受講態度・提出物30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
出村慎一(監)『健康・スポーツ科学講義 第2版』杏林書院、2019					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					

基本情報	1年 前期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(実技)
科目名	保健体育Ⅱ	担 当	工藤 冨		
【授業の概要】					
様々な遊びやダンスを通して、身体を動かす事の楽しさや心地よさを自らの身体で体験し、進んで運動を行うようになるよう教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体をしっかりと動かし、運動することの楽しさや心地よさを感じることができる。 ・グループで協力して遊ぶことができる。 ・自ら遊びを考えたり探したりして、全員の前で発表することができる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	ストレッチ、マッサージ、各自の発表についての説明			
2	あそび①	まねっこ遊び、ひよこいもむし追いかっこなど			
3	あそび②	なりきりスーパーマン、新聞島に乗ろうなど			
4	あそび③	机の上をボール転がし、相手にボールを転がすなど			
5	あそび④	フラフープ縄跳び、フラフープくぐり競走など			
6	外遊び①	だるまさんがころんだ、ゴムとびなど			
7	外遊び②	ドッチボール、鬼ごっこなど			
8	ダンスの基本動作	幼児が出来るようなダンスの基本的な動き			
9	ダンスのグループ決め、曲決め	グループ決め、ダンスの曲決め			
10	ダンスを考える①	各グループでダンスの振り付けを考える			
11	ダンスを考える②	各グループでダンスの振り付けを考える			
12	ダンス練習①	各グループでダンスの練習をする			
13	ダンス練習②	各グループでダンスの練習をする			
14	ダンス発表①	各グループでダンス発表(3グループ)			
15	ダンス発表②	各グループでダンス発表(3グループ)			
【成績評価の方法と基準】					
表現技術70点、受講態度・提出物30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
特になし。					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					
実技授業のため、原則見学はできません。体調管理をしっかりとってください。体操服、運動靴、筆記用具を準備してください。					

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	子ども家庭福祉	担 当	川野 義人 (実務経験者) 児童養護施設の所属長として勤務		
【授業の概要】					
子ども家庭福祉の歩み・理念・法体系・実施機関等の現状や課題を知り、保育士としての役割を考える。					
【授業の到達目標】					
子ども家庭福祉の現状を知り、保育士に何が求められているかを自覚し、「児童の最善の利益」を考えた支援ができる保育士を目指す。					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子ども家庭福祉の理念と概要	児童家庭福祉の理念、児童の現状、児童の最善の利益			
2	子ども家庭福祉の歴史的変遷と諸外国の動向	子ども家庭福祉の歴史、諸外国の動向、貧困対策			
3	子どもの人権擁護	児童の人権の歴史、児童の権利条約、保育士の役割			
4	子ども家庭福祉の制度と実施体制	子ども家庭福祉の法制度・行財政、実施体制			
5	子ども家庭福祉の施設と専門職	施設の種類、専門職種の役割、保育士の倫理			
6	少子化と地域子育て支援	少子高齢社会の現状と対策、子ども子育て支援施策			
7	母子保健と子どもの健全育成	制度の歩み、児童の健全育成、母子保健サービスの動向			
8	多様な保育ニーズへの対応	多様なニーズへの仕組み、障がい児支援の現状			
9	子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止	児童虐待の現状、DVとの関連、児童虐待防止施策			
10	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭との対応	子育て家庭の貧困、外国籍の子どもと家庭への支援			
11	社会的養護	社会的養護の現状、社会的養護の課題と将来像			
12	障がいのある子どもへの対応	障がい児支援の歩みと現状、ノーマライゼーション			
13	少年非行への対応	少年非行の現状、児童自立支援施設、制度改革の意味			
14	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進	次世代育成支援の現状と課題、ワークライフバランス			
15	地域における連携・協働とネットワーク	要保護児童対策地域協議会、協働、保育士の役割			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査75点、小論文15点、ノート・出席状況10点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)新保幸男・小林 理(編)『新 基本保育シリーズ③ 子ども家庭福祉』中央法規、2019					
【参考書】					
「社会福祉小六法 2021」ミネルヴァ書房					
【備 考】					

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	社会的養護Ⅰ	担当	安東 和子		
【授業の概要】					
社会的養護の意義と歴史の変遷、社会的養護の基本について理解させる。また、社会的養護の制度や法体系等について学び、社会的養護に関わる専門職としての倫理と責務等の涵養を図る。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> 社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 社会的養護の現状と課題について理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	社会的養護の理念と概念	社会的養護の概念と理念を学び、理念や原理に基づいた社会的養護の基盤づくりについて理解する。			
2	社会的養護の歴史の変遷	欧米や日本における社会的養護の歴史を学び、これらの歴史を踏まえ、子ども観について理解する。			
3	子どもの人権擁護と社会的養護	社会的養護における児童虐待の現状と課題を学び、子どもの人権擁護の観点から、社会施策の動向を考える。			
4	社会的養護の基本原則	国内外の家庭養育優先原則の現状を学び、アイデンティティ形成のための養育環境について考える。			
5	社会的養護における保育士等の倫理と責務	社会的養護に関わる専門職の行動規範である倫理とその責務について考える。			
6	社会的養護の制度と法体系	措置制度とその背景、児童福祉法の概要、関連法規を学び、社会的養護の制度と法体系を理解する。			
7	社会的養護のしくみと実施体系	社会的養護の施設等の目的と概要、今後の課題を学び社会的養護のしくみと実施体系を理解する。			
8	社会的養護とファミリーソーシャルワーク	ソーシャルワークの基本的な視点等を確認し、社会的養護におけるソーシャルワークの展開について確認する。			
9	社会的養護の対象と支援のあり方	社会的養護の対象の子どもや家庭について、子どもや家族がどのようなニーズ抱えているか確認する。			
10	家庭養護と施設養護	施設養護や里親制度、ファミリーホームの現状を学び、施設養護と家庭養護との相違点を理解する。			
11	社会的養護に関わる専門職	社会的養護に求められる専門性や資格、施設以外の保育士と連携する他の職種について学ぶ。			
12	社会的養護に関する社会的状況	養子縁組を含む社会的養護の在り方を考え、子どもが育つ基盤である家庭や社会的養護の存在意義を理解する。			
13	施設等の運営管理の現状と課題	社会的養護に係る基本理念を実現するための、施設運営に関わる内容と費用のしくみや在り方について考える。			
14	被措置児童等の虐待防止の現状と課題	被措置児童等虐待を理解し、被措置児童等の虐待現状を統計から概観し、その発生要因と課題について考える。			
15	社会的養護の地域福祉の現状と課題	児童福祉施設の地域支援、地域貢献の在り方を学び、社会的養護と地域福祉の課題について学ぶ。			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査50点、課題レポート40点、受講態度10点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)相澤仁・林浩康(編)『新基本保育シリーズ⑥ 社会的養護Ⅰ』中央法規、2019					
【参考書】					
【備考】					

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	保育者論	担 当	江良 愛子 (実務経験者)		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務					
【授業の概要】					
子どもの育ちと保護者の子育てを支える保育士の専門性や制度的な位置付け等について教授する。					
【授業の計画】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の役割と倫理について理解する ・保育士の制度的な位置づけを理解する。 ・保育士の専門性及び保育の質の向上について考察し、理解する。 ・保育士の連携・協働について理解する。 ・保育士の資質向上について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育士の役割	児童福祉法に規定された保育士の二つの役割についての理解			
2	保育士の役割と職務内容	保育士の専門性にそった6つの役割と職務についての理解			
3	事例からみる保育士の役割	遊び場面における保育士の援助についてグループワーク			
4	保育士の倫理 -全国保育士会倫理綱領-	保育士に求められる専門的倫理についての理解			
5	保育士の資格と責務	保育士の定義、保育士の資格とその要件についての理解			
6	保育士の資質・能力	保育を考える・子どもを理解する・人とかかわる等3つの力の理解			
7	養護および教育の一体的展開	具体的事例をもとに保育士の援助についてグループワーク			
8	家庭との連携	保護者支援の必要性、子育て支援の基本の理解			
9	計画に基づく保育の実践と省察・評価	PDCAサイクルの必要性、子どもの主体性と指導の計画性の理解			
10	保育の質の向上	養護と教育の一体性、主体性の尊重による質の保障の理解			
11	職員間の理解	保育における引継ぎ、情報の共有化の重要性について理解			
12	地域社会との連携・協働	子どもの体験を豊かにする自然・人材・行事・施設等の活用			
13	関係機関等の連携	地域型保育事業の概要、家庭的保育についての理解			
14	資質向上に関する組織的取り組み	省察的実践者である保育士のあり方についての理解			
15	まとめ	わたしの目指す保育士像を書く			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、授業への積極的取組20点、レポート課題への取り組み等20点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)矢藤誠慈郎・天野珠路(編)『新・基本保育シリーズ⑦ 保育者論』中央法規、2019 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	保育の心理学	担当	佐藤 みつよ (実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
心身の発達や学びの過程について心理学的知見を中心に説明する。心理学の知識と保育場面での事例とを関連づけながら、子どもへの関わり方や保育環境などを考えられるようにしていく。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者として必要な心身の発達に関わる心理学の知識を学び、子どもや保育に対する理解を深める。 ・乳幼児期の学びの過程や特性を知り、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	子どもの発達を理解することの意義	発達と個人差、アセスメントと子ども理解			
2	子どもを取り巻く環境と発達	子どもを取り巻く環境、発達を規定する要因			
3	環境としての保育者と子どもへの影響	人的環境としての保育者、保育者の役割と専門性			
4	発達理論と子ども観	発達原理、発達理論(ピアジェ、エリクソン)、子ども観			
5	子どもの知覚の発達	子どもの知覚特性、感覚機能の発達			
6	子どもの身体・運動発達	身体・運動発達の特徴、粗大運動・微細運動の発達			
7	愛着の形成と発達	愛着関係の発達、愛着形成の方法・援助			
8	子どもの情緒・欲求の発達	情緒の発達、欲求の発達			
9	社会情動的発達	自己意識の発達、社会情動的スキルの発達			
10	子どもの言語・コミュニケーションの発達	乳幼児期のコミュニケーション、言語の発達			
11	子どもの認知発達	認知発達、記憶の発達			
12	子どもの学びに関わる理論	学習の定義、条件づけ学習、問題解決学習、観察学習			
13	学びの動機づけ	動機づけとは、外発的動機づけ、内発的動機づけ			
14	乳幼児期の学びの過程と特性	主体的に学ぶことの重要性、遊びの分類と発達			
15	乳幼児期の学びを支える保育	子どもを取り巻く現状と課題、課題に応じた保育			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、提出物・受講姿勢40点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
瀧口綾・福田真奈(編著)『保育士を育てる①保育の心理学』一藝社、2020					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(人間関係Ⅰ)	担 当	久保田 貴子 (実務経験者)		
幼稚園に教諭及び園長として勤務					
【授業の概要】					
乳幼児が人との相互的関わりを通して発達していくことを理解した上で、「自立心を育て人とかかわる力の基礎を培う」ための望ましい指導について事例を通して学びを深める。					
<ul style="list-style-type: none"> ・養護及び教育に関わる保育内容の関連性を理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ・領域「人間関係」のねらい及び内容、内容の取扱いを理解する。 ・さまざまな事例を通して、人と関わる力の発達、及び、その基礎を培うための保育者の役割について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	幼児期の教育の基本①	「見方・考え方」の育ち、育みたい資質・能力、養護と教育の一体性			
2	幼児期の教育の基本②	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、主体的・対話的で深い学び			
3	幼児期の教育の基本③	幼児期にふさわしい生活の展開、環境を通しての保育、遊びを通しての総合的な指導、計画的な環境の構成			
4	保育者の役割、領域「人間関係」のねらい	保育者の役割キーワード、領域「人間関係」のねらい及び内容			
5	乳幼児期の発達と領域「人間関係」①	親、保育者との出会いを通して			
6	乳幼児期の発達と領域「人間関係」②	友だちとの出会いやぶつかりを通して 乳児期、1・2歳児			
7	乳幼児期の発達と領域「人間関係」③	友達との出会いやぶつかりを通して 3歳以上児			
8	人とかかわる力を育む保育者のかかわり①	信頼関係を築く、自己主張を支える			
9	人とかかわる力を育む保育者のかかわり②	子ども同士の関係をつなぐ			
10	人とかかわる力を育む保育者のかかわり③	自立を支える、人間関係の広がりを作る			
11	遊びのなかの人との関わり①	遊びの発達と子どもの育ち			
12	遊びのなかの人との関わり②	楽しさ・場・イメージの共有、アイデアを出す			
13	家庭生活を通して育つ人とのかかわり①	愛着や基本的信頼の形成			
14	家庭生活を通して育つ人とのかかわり②	価値やルールの学び			
15	まとめ	授業の振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査70点、提出物20点、積極的な授業態度等10点により判断する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
無藤隆(監)岩立京子(編者代表)『事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係』萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					
乳幼児期の子どもの発達や遊びの状況などに関心を持ち、情報の収集に努めましょう。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(言葉Ⅰ)	担当	梶原 礼 (実務経験者) 幼稚園に教諭として勤務		
【授業の概要】					
講義や演習を通して、領域「言葉」のねらいや内容、子どもの発達、保育者の役割等について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「言葉」のねらい、内容、他領域との関係について理解する。 ・乳幼児が言葉を獲得して行く道筋と、それにかかわる保育者の役割について理解する。 ・素話について、声の出し方や幼児に対する話し方などを知り、表現の技術を身につける。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	幼児教育の基本と領域「言葉」	教育・保育の基本と領域「言葉」			
2	領域「言葉」のねらいと内容①	領域「言葉」のねらい及び内容 乳児、1歳以上3歳未満児			
3	領域「言葉」のねらいと内容②	領域「言葉」のねらい及び内容 3歳以上児			
4	領域「言葉」と他領域との関係／素話Ⅰ－1	領域「言葉」の考え方と総合的な指導／素話Ⅰ①			
5	領域「言葉」における評価／素話Ⅰ－2	発達と評価の観点／素話Ⅰ②			
6	子どもの発達とことば①／素話Ⅰ－3	ことばのもつ意義と機能／素話Ⅰ③			
7	子どもの発達とことば②／素話Ⅰ－4	子どものことばの発達／素話Ⅰ④			
8	子どもの発達とことば③／素話Ⅱ－1	ことばの発達と人とのかかわり／素話Ⅱ①			
9	子どものことばと保育の実際①／素話Ⅱ－2	ことばを育む保育者の役割と援助／素話Ⅱ②			
10	子どものことばと保育の実際②／素話Ⅱ－3	子どもの生活とことば、子どもの遊びとことば／素話Ⅱ③			
11	子どものことばと保育の実際③／素話Ⅲ－1	「聞く」ことを通じた体験、「話す」ことを通じた体験／素話Ⅲ①			
12	子どものことばと保育の実際④／素話Ⅲ－2	書きことばが伝える世界／素話Ⅲ②			
13	ことばをめぐる現代的課題と領域「言葉」①／素話Ⅲ－3	ことばの発達が気になる子ども／素話Ⅲ③			
14	ことばをめぐる現代的課題と領域「言葉」②	情報化のなかの子どもとことば、ことばの発達と保・幼・小連携			
15	まとめ	授業の振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、表現技術20点、提出物・受講態度20点により判断する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
藪中征世・玉瀬友美・星野美穂子(編)『新版 保育内容・言葉 -乳幼児のことばを育む-』教育出版、2017 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(環境Ⅱ)	担当	久保田 貴子 (実務経験者) 幼稚園に教諭及び園長として勤務		
【授業の概要】					
領域「環境」に関わる保育場面を想定し、指導計画の作成、環境の構成、省察・評価・改善等について、グループワークを通じた協働的な学びあいの中で理解を深め、保育構想力の向上をはかる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。 ・ 「環境」のねらい及び内容と他領域との関連、遊びを通じた総合的保育の展開について理解する。 ・ 具体的保育場面を想定し、環境の構成・教材や遊具等の活用と工夫、計画・実践・省察・評価の実際について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	「幼児教育の基本に」について		「環境を通して行う保育」「養護と教育の一体性」についての理解		
2	「思考力の芽生え」について		「好奇心や探究心をもって環境に関わる力を培う」意味と重要性		
3	具体的な保育を想定した指導計画		指導案の形式、書き方についての理解		
4	保育(コマづくり、砂遊び、新聞紙遊び)の構想		グループワーク(物的環境の準備や活動の流れについて)		
5	保育場面を想定した具体的な保育の流れについて		グループワーク(主体的な遊びへの導入の工夫や援助)		
6	指導案作成		グループワーク(ねらいや内容の設定、指導案を書く)		
7	グループごとの指導案の発表と改善①		グループごとの指導案の発表、意見交換、指導案改善①		
8	グループごとの指導案の発表と改善②		グループごとの指導案の発表、意見交換、指導案改善②		
9	グループごとの指導案の発表と改善③		グループごとの指導案の発表、意見交換、指導案改善③		
10	指導案の作成・改善		意見交換を通しての学びをもとに、各自、指導案を作成		
11	現代の保育の課題と領域「環境」①		子どもの体験不足や環境問題、保育・教育の課題		
12	現代の保育の課題と領域「環境」②		グループごとのテーマ設定、討議、まとめ		
13	現代の保育の課題と領域「環境」③		グループごとに発表、意見交換		
14	現代の保育の課題と領域「環境」		子どもの遊びと学びの環境を豊かにつくり出す実践に学ぶ		
15	まとめ		授業のまとめ、振り返り		
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査70点、受講態度・グループワークの取り組み・提出物等30点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
無藤隆(監)福元真由美(編者代表)『事例で学ぶ保育内容 領域 環境』萌文書林、2018 厚生労働省 編『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					
乳幼児期の子どもを取り巻く環境の変化や遊びの状況等に関心を持ち、情報の収集に努めましょう。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門分野	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	音楽表現Ⅱ	担当	田北嘉奈子		
【授業の概要】					
リトミックの体験とさまざまな楽器を使って豊かな音楽表現が出来るように教授する。					
【授業の到達目標】					
・乳幼児の音楽表現活動の楽しさを理解し、乳幼児の発達に即したリトミックによる身体表現活動や楽器遊びの指導ができる。					
【授業の計画】			【内容】		
1	乳幼児の音楽指導の歴史	ダルクローズのリトミックを理解する。			
2	保育におけるリトミック教育について①	リトミックの基礎を体験する。			
3	保育におけるリトミック教育について②	リトミックの基礎を体験する。			
4	保育におけるリトミック教育について③	リトミックの基礎を体験する。			
5	保育におけるリトミック教育について④	リトミックを応用し自分の指導に取り入れられるようにする。			
6	保育におけるリトミック教育について⑤	リトミックで使うピアノ演奏の練習と指導案を作る。			
7	保育におけるリトミック教育について⑥	リトミックで使うピアノ演奏の練習と指導案を作る。			
8	リトミックを取り入れた音楽あそびの発表	グループごとに発表する。			
9	リトミックを取り入れた音楽あそびの発表	グループごとに発表する。			
10	リトミックを取り入れた音楽あそびの発表	グループごとに発表する。			
11	さまざまな楽器で表現活動①	さまざまな楽器の使い方を理解する。			
12	さまざまな楽器で表現活動②	さまざまな楽器で音色リズムなどを表現する。			
13	さまざまな楽器で表現活動③	さまざまな楽器を使い合奏を体験する。			
14	さまざまな楽器で表現活動④	さまざまな楽器を使い合奏を体験する。			
15	音楽表現についての理解とまとめ	音楽表現について復習し理解を深める。			
【成績評価の方法と基準】					
授業中の実技発表70点、授業態度30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
今泉明美・有村さやか(編)『子どものための音楽表現技術～感性と実践力豊かな保育者へ～』萌文書林、2018 高御堂愛子・植田光子・木許隆(監・編著)『保育者をめざす楽しい音楽表現』圭文社、2017					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	総合表現Ⅱ	担当	渡邊 繁治		
【授業の概要】					
パネルシアターやタオル人形などの教材を制作したり、それを使って実演したりしながら、教材の制作や保育の現場での活用方法について考えさせる。また演じるために必要な準備や態度、技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> 身近な材料を用いて創意工夫し、幼児に適した教材を作ることができる。 保育の目的に応じた教材の選択と効果的な活用を知る。 パネルシアターやタオル人形の実演を通して、表現方法を体得する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	パネルシアター:絵人形の制作2		既存の作品の中から自分の好きな作品を選んで制作する		
2	パネルシアター:絵人形の制作2		既存の作品の中から自分の好きな作品を選んで制作する		
3	パネルシアター:絵人形の制作2		既存の作品の中から自分の好きな作品を選んで制作する		
4	パネルシアター:演じ方・発表練習		発表に向けて適切な環境や準備物など知り舞台セッティングの練習を行う、演じ方の基礎を確認し各自練習をする		
5	パネルシアター:演じ方・発表練習		発表に向けて適切な環境や準備物など知り舞台セッティングの練習を行う、演じ方の基礎を確認し各自練習をする		
6	パネルシアター:発表とディスカッション		クラス内で発表を行いお互いの実演に対して意見交換をする、自分の発表についての感想や課題について文章化する		
7	パネルシアター:発表とディスカッション		クラス内で発表を行いお互いの実演に対して意見交換をする、自分の発表についての感想や課題について文章化する		
8	特別公演(パネルシアター・タオル人形)		パネルシアター・タオル遊びの専門家を招いて特別公演を行う		
9	タオル人形作り		タオル人形を制作する		
10	タオル人形作り		テーマに沿ってタオル人形を各自制作し演じ方を考え発表する		
11	自主公演に向けて:企画・発表練習		演目やプログラムなどを考え自主公演を企画する		
12	自主公演に向けて:準備・発表練習		自主公演に向けての練習や話し合いをする		
13	自主公演に向けて:準備・発表練習		自主公演に向けての練習と舞台設置等の準備を行う		
14	自主公演(課外授業)		園児を対象に実演することにより共感の喜びや演じる楽しさを味わう		
15	自主公演の振り返りとまとめ		自主公演と1年間の取り組みを振り返り感想文を書く、後期のまとめ		
【成績評価の方法と基準】					
<p>授業への取り組み(関心・意欲・態度)40点、自主公演での発表や態度20点、製作課題20点、学びについてのレポート20点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
古橋和夫(編)『保育者のための言語表現の技術 2版』 萌文書林、2016					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』 フレーベル館、2018 松家まきこ(著)『0歳から楽しめる ふわふわタオルあそび』 学研、2019					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	器楽Ⅱ	担 当	渡邊 砂子 関 純子 米田 昌子 安部 千鶴		
【授業の概要】					
テキスト教材を使った個人授業を行い、保育者に求められるピアノの演奏技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に求められるピアノの演奏技術と音楽表現の基礎を身に付ける。 ・子どもの歌を曲の表情に合わせて表現する力を身に付ける。 ・子どもの表情や動きに合わせて演奏する力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	へ長調の音階、「ゆりかごの歌」		音階の流れと運指(シb)に気を付けて演奏		
2	27番、「ゆりかごの歌」		へ長調の和音I、Vの形、柔らかに歌う工夫		
3	27番、59番、「ゆりかごの歌」「きらきら星」		シンコペーション、A-A'-B-A'の曲の形		
4	59番、79番、「豆まき」		スタッカートや八分休符を生かした弾き方、アレグレット		
5	79番、60番、「豆まき」、「ブンブンブン」		右手の順次進行をスムーズに、左手三連符をレガートで、コモド		
6	60番、84番、「おばけなんてないさ」		アウフタクトの曲、右手ポジション移動、左手和音の並進行		
7	84番、「朝の歌」、「たなばたさま」		3/8拍子の曲を学ぶ、付点のリズムを生かす		
8	84番、「朝の歌」、「おかえりのうた」		付点のリズムを生かす、スタカティッシモによる間をためての効果とデューナーミク		
9	28番、「おかえりのうた」		スタッカートとスタカティッシモ、左手ポジションの速やかな移動、8vaの演奏、アレグロ		
10	98番、29番、「ありさんのおはなし」		2/4拍子の軽快なマーチ・3/4拍子の軽いワルツのリズム、装飾音符の演奏、反進行の動き		
11	98番、61番、「ありさんのおはなし」、「まつぼっくり」		メロディの変奏、16分音符の軽やかな動き		
12	98番、30番、「まつぼっくり」		左手和音の連打、左手跳躍の伴奏の形とアルベルティのバスの形		
13	98番、99番、「まつぼっくり」		マーチの曲を使つての実践を意識して演奏する はお話をするように歌う リタルダンドの演奏の仕方 歌		
14	教本、「とんでったバナナ」		試験の課題曲を中心に後期学んだ内容を振り返る		
15	後期の課題の復習・まとめ		後期の試験を行う 次年度へ向けての課題		
【成績評価の方法と基準】					
<p>課題曲で行う実技試験70点、授業時の実技評価及び授業態度30点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>大学音楽教育研究グループ(編著)『教職課程のための 大学ピアノ教本 バイエルとツェルニーによる展開』教育芸術社 2014 鈴木恵津子・富田英也(監修・編著)『改訂ポケットいっぱいのおた 実践こどものうた 簡単に弾ける144選』教育芸術社 2017</p>					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	乳児保育Ⅱ	担当	脇 輝美 (実務経験者) 病院に看護師として勤務		
【授業の概要】					
乳児保育の基本は、一人一人の子どもに応じた援助によって生命の保持が図られ、受容的・応答的な関わりによって情緒が安定することを理解させる。0・1・2歳それぞれの年齢ごとの生活の流れや保育環境、援助の実際、および健康・安全と情緒の安定等への配慮について述べ、具体的な指導計画・個別計画と評価について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の内面や発達過程を理解し、優しく見守り寄り添う保育力を養う基礎をつくる。 ・保育指針解説を読み通し、保育所保育の特性である養護と教育の一体性や5領域につながる「3つの視点」について理解する。 ・デイリープログラムについて、実践と結びつけて理解する。 ・保護者との連携、職種間の協働の重要性を学ぶ。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	乳児保育の基本	演習を通して、子どもの主体性を育てる保育について考える			
2	子どもの生活の流れ(0歳児クラス)	乳児にふさわしい環境、保育指針からみる環境、家庭的な雰囲気			
3	子どもの保育環境(0歳児クラス)	発達を促す玩具・保育者のかかわり、保育者も大切な環境			
4	子どもの援助の実際(0歳児クラス)	デイリープログラム、5領域につながる3つの視点			
5	子どもの生活の流れ(1歳児クラス)	デイリープログラム、朝の視診、家庭からの生活リズムの情報共有			
6	子どもの保育環境(1歳児クラス)	環境整備、地域の環境、手づくり玩具			
7	子どもの援助の実際(1歳児クラス)	生活の援助、遊びの援助、かみつきについて保育者の対応・保護者への対応			
8	子どもの生活の流れ(2歳児クラス)	デイリープログラム、内面の思いを受けとめる保育者のかかわり			
9	子どもの保育環境(2歳児クラス)	自立を促すかかわり、発達段階と保育者のかかわり			
10	子どもの援助の実際(2歳児クラス)	見立て遊び、手指の発達を促す遊びと生活習慣、2歳児の育みたい資質・能力			
11	子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	保育所保育指針の内容、情緒の発達・愛着形成、子どもの健康支援、事故予防・災害の備え			
12	集団での生活における配慮	集団保育と個々への援助、個別計画の重要性、保育者同士と他職種の連携、保護者との連携			
13	環境の変化や移行に対する配慮	3歳未満の子どもたちの移行の具体例、移行に対する配慮、移行の「事例」に学ぶ			
14	長期的な指導計画と短期的な指導計画	長期計画と短期計画の役割、実際の指導計画に学ぶ、保育のふりかえり			
15	個別的な指導計画と集団の指導計画	個別的な計画、集団の計画、個別計画(月齢差・個人差・保護者との連携)			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査80点、レポート20点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(鑑)寺田清美・大方美香・塩谷香(編)『基本保育シリーズ⑮ 乳児保育Ⅰ・Ⅱ』中央法規、2019 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備考】					
<ul style="list-style-type: none"> ・『保育所保育指針解説』を自分なりのペースで読み込み、必ず読破する。 ・復習に力を入れて、習ったこと・学んだことを常に確認する。 ・クラスやグループで意見交換や関連資料の提示を活発に行い、学びを共有し合う。 					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 通年(後期)	専門科目	必修	通年2単位 後期30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実習指導 I	担当	江良 愛子(実務経験者) 安東 和子 佐藤 みつよ(実務経験者) 梶原 礼(実務経験者)		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務 幼稚園に教諭として勤務 幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
保育所及び保育所以外の児童福祉施設での実習を円滑に進めるため、その役割や機能、実習の心構え等について学び、保育実習 I A(保育所)・I B(施設)に備えさせる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的を理解する。 ・実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 ・実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ・事前訪問の意義や目的、心構えやマナーを理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
16	保	「誓約書」「プロフィール」(写真貼付) 実習日誌	書類の提出 実習日誌を書く意義・記録の視点		
17	保 施	えのくま幼稚園での保育観察	子どもの言動や保育者との関わり等を観察・記録・感想文等整理		
18	保	オリエンテーションに向けて	事前訪問依頼 報告書作成・提出		
19	施	オリエンテーションに向けて	事前訪問依頼 報告書作成・提出		
20	保	部分実習指導案作成(15分程度)	手遊び・読みきかせ等の指導案作成		
21	保	実技発表	手遊び・読みきかせ等の発表		
22	施	部分実習指導案作成(15分程度)	手遊び・読みきかせ等の指導案作成		
23	保	実技発表	手遊び・読みきかせ等の発表		
24	保	実習事前指導	実習日誌ファイル作成 提出書類の袋詰め		
25	施	保育実習の記録	一日のねらい、観察記録、省察の視点		
26	施	実習事前指導	実習日誌ファイル作成 提出書類の袋詰め		
27	保 施	実習直前指導(実習生としての心構え)	プライバシーの保護・守秘義務等		
28	保 施	事後指導(実習報告会)	実習の成果についてグループワーク、発表		
29	保	事後指導	評価票面接 今後の課題を書く		
30	施	事後指導	評価票面接 今後の課題を書く		
【成績評価の方法と基準】					
課題提出・配布資料の整理70点、受講態度30点、前学期・後学期の成績を平均し、通年で評価 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 90時間	授業形態(実習)
科目名	保育実習 I A(保育所)	担当	江良 愛子(実務経験者) 佐藤 みつよ(実務経験者) 渡邊 砂子 幼稚園に教諭及び副園長として勤務 幼稚園に教諭として勤務		
【授業の概要】					
各自が希望した保育園(所)での実習(観察・参加実習を主としながら部分実習もある)を10日間行う。子どもと生活しながら授業で学んだ保育の知識や技術の体験的な理解、及び観察を通しての子ども理解を深める。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能を具体的に理解する。 ・観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。 ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。 ・保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。 ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
<p>○各自が希望した保育園(所)で実習を行う。</p> <p>○実習期間は10日間 令和4年2月15日(火)～2月26日(土)</p>			<p>1 保育所の役割と機能</p> <p>(1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり</p> <p>(2) 保育所保育指針に基づく保育の展開</p> <p>2 子どもの理解</p> <p>(1) 子どもの観察とその記録による理解</p> <p>(2) 子どもの発達過程の理解・援助や関わり</p> <p>3 保育内容・保育環境</p> <p>(1) 保育の計画に基づく保育内容</p> <p>(2) 子どもの発達過程に応じた保育内容</p> <p>(3) 子どもの生活や遊びと保育環境</p> <p>(4) 子どもの健康と安全</p> <p>4 保育の計画・観察・記録・省察</p> <p>5 専門職としての保育士の役割と職業倫理</p>		
【成績評価の方法と基準】					
<p>実習園の評価70点、実習日誌・感想文・指導案等30点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館、2018					
【備 考】					

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	専門科目	必修	2単位 90時間	授業形態(実習)
科目名	保育実習 I B(施設)	担 当	安東 和子 梶原 礼(実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
<p>保育所以外の児童福祉施設で10日間実習を実施する。施設の社会的役割や機能、利用者の生活と一日の流れを理解し、支援の実際を学ぶ。実習施設からの指示による部分実習では指導案を作成し、実践後には振り返りを行う。また、実習日誌を作成し、自己評価と省察を行う。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。 ・観察や子どもとの関わりをとおして子どもへの理解を深める。 ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育や保護者への支援について学ぶ。 ・保育の計画・観察・記録および自己評価等について具体的に理解する。 ・施設保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ。 					
【授業の計画】			【内 容】		
<p>① 実習期間 令和4年3月2日(水)～令和4年3月12日(土)</p> <p>② 実習場所</p> <p>② 実習場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設 ・障害児入所施設 ・乳児院 ・母子生活支援施設 ・児童発達支援センター ・生活介護施設 等 			<p>1 施設の役割と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設における子どもの生活と保育士の支援 ② 地域における施設の役割と機能 <p>2 子ども理解</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの観察とその記録 ② 個々の状態に応じた援助やかかわり <p>3 施設における子どもの生活と環境</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの心身の状態に応じた生活と対応 ② 子どもの活動と環境 ③ 健康管理、安全対策の理解 <p>4 計画と記録</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 支援計画の理解と活用 ② 記録に基づく省察・自己評価 <p>5 保育士の役割と倫理</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育士の業務内容 ② 職員間の役割分担や連携 ③ 保育士の職業倫理 		
【成績評価の方法と基準】					
<p>実習施設の評価70点、実習日誌・感想文・指導案等30点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	英語Ⅱ	担当	瀬口 珠美		
【授業の概要】					
以下の活動を通して、英語の基礎的・基本的な知識や技能の習得を土台とし、コミュニケーション能力を高めるよう教授する。					
1. 語彙・文法の復習 2. テキスト通読、語句の確認、概要把握、音読練習、英作文、問題ノート 3. 会話練習、発表					
【授業の到達目標】					
・英語の基礎的事項を理解し、英語での運用能力を高める。 ・ニュースで取り上げられた様々な現代社会の事象に触れ、保育に欠かせない多様な価値観への興味関心を高め、人間理解の幅を広げる。					
【授業の計画】			【内 容】		
1	5. Kakegawa's Projection Mapping	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
2	5. Kakegawa's Projection Mapping	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
3	6. Drones	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
4	6.Drones	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
5	7. Yoshino won the Nobel Prize	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
6	7. Yoshino won the Nobel Prize	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
7	8. New Bills	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
8	8. New Bills	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
9	9. How Shoould We Use Social Media?	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
10	10. Unique Sightseeing Trains	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
11	11. Glowing Creatures	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
12	12. Rickshaw Driver	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
13	13. Notre Dame Cathedral	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
14	14. Kyu-Can-Cho Project	語句・文法の確認、概要把握、音読練習、問題ノート			
15	後期復習	総合問題			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、授業時の活動への参加状況や受講態度20点、課題への取り組み20点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
浜島書店編集部(編)『Watching Light 2020-2021』 文法学習プリント、英文記事の抜粋 等 ※授業時に配布					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					
英和辞典、ノート2冊(A4サイズが望ましい)、糊、ファイルを用意すること。(糊、ファイルはプリントを整理するため)					

基本情報	1年 後期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	フラワーデザイン	担 当	井上 礼子		
【授業の概要】					
生花等のアレンジメントやアクセサリ制作をとおして、基礎技法・基礎技術・基礎知識を学び、日常的に花を飾る方法(アイデア、発想力、技術)を習得させて幼児教育の花育に結び付ける。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・演習をとおして植物や資材等の取扱いなどの基礎的な技術と知識を習得する ・身近にあるものを工夫して、植物や花を毎日の生活に取り入れることができる創造的実践力を習得する ・季節行事に合わせたデザインを考える 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	フラワーデザインとは	フラワーデザインの概要と演習			
2	植物による健康被害	人に影響を及ぼす植物の知識を習得			
3	植物採集	身近にある植物の観察と草の葉の採集			
4	野草あそび	採集した植物を使って造形物を制作			
5	植物採集	植物(ドングリ)の生育環境や生態を学習			
6	フラワーアクセサリ	生花で髪飾りを制作			
7	ガーデニング	ガーデニングの知識と技術の習得、寄せ植えの制作			
8	野草遊び	採集したドングリの処理と造形物の制作			
9	フラワーアクセサリ	植物でアクセサリを制作			
10	季節のデザイン クリスマス	季節行事に応じたデザインを制作			
11	季節のデザイン お正月	"			
12	フローラルコラージュ	植物を使ったコラージュを制作			
13	壁掛けの花	植物を飾る壁掛けを制作			
14	プティデザイン	小さな小さなアレンジメントを制作			
15	フラワーアクセサリ	造花と生花でコサージュを制作			
【成績評価の方法と基準】					
制作技術70点、授業態度(積極性)20点、提出物等10点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	1年 後期	教養科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	倫理学	担 当	助安 正一		
【授業の概要】					
「人間いかに生きるべきか」という問いは、人生で直面するさまざまな問題のなかで最も根源的なものである。人間らしく生きるための道筋、秩序である倫理についての原理の探究と実践への手がかりを求める「倫理学」を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育に携わる教育者としての教養を高め、自主的・自覚的な態度・能力の向上を目指す。 ・「…である」から「…であるべきである」を導き出す倫理的価値を判断できる能力を培う。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	自己の発見と他者との出会い	日常の中の基本的な人間のあり方			
2	人生の意味を求めて	倫理の不変的な面と可変的な面			
3	西洋思想の源流	古代ギリシアの思想			
4	中国思想の源流	儒家・道家等諸子百家			
5	宗教とは	自己の有限性の自覚と宗教の意義			
6	近代科学の考え方	学問の方法としての帰納法・演繹法			
7	理想的な人間像	道徳法則と自由・人格主義			
8	幸福の追求	功利主義			
9	創造的知性	現実の具体的課題とプラグマティズム			
10	真の自己を求めて	実存の哲学と現代			
11	古代日本人の考え方	神々の世界と清き明き心			
12	仏教の受容	日本的仏教の考え方			
13	儒教の受容	日本の儒学と国学			
14	西洋思想の受容	日本の近代精神			
15	現代の倫理的課題	生命科学と倫理			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査80点、受講態度(レポートを含む)20点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
「倫理学ノート」					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

基本情報	1年 後期	教養科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	文学	担当	富成 碩甫		
【授業の概要】					
日本の文化としての昔話を理解することで、よりよい保育・幼児教育をめざす向上心を養う。昔話の変遷を知ることで保育現場での困難性、問題点を解決する能力を養う。日本の昔話を学ぶことで日本文化の伝統と民族性を理解することができるようにする。子どもたちが、日本人としての強さと誇りを持ったおとなになれるよう、日本の伝統文化や民族性を伝える技術を身につけさせる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育・幼児教育に対する使命と責任とを自覚し、個性豊かな人間性を持った保育・幼児教育者になることを目標とする。 ・保育専門職としての課題探求能力・問題解決能力などの実践力を養うことを目標とする。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	テーマ1愛と別れ「蛇喰入」「狐女房」	人間が異類と結婚する昔話(異類婚姻譚)を題材にして、その「愛と別れ(夫婦の愛・親子の愛)」が何をもたらすのかを考えさせる。			
2	テーマ2恵み「地藏浄土」「鼠浄土」	庶民の地藏信仰を反映した昔話を題材にして、将来子どもたちが絶望を味わった時、いかに生きるかを子どもたちに伝えられるようにする。			
3	テーマ2恵み「おむすびころりん」「笠地藏」	他者を思いやるやさしい心を伝えることができるようにする。			
4	テーマ3逃走「三枚の護符」「牛方山姥」	逃走譚である二つの昔話を題材にして、命の大切さを伝えることができるようにする。			
5	テーマ4夢と運「藁しべ長者」「鳩提灯」「三年ねたろう」	「運」というものは、その人の人生を変えてしまうこともある。三つの昔話を題材にして、人生において「運」はどのように作用するのかを考えさせる。			
6	テーマ5冒険「一寸法師」	子どもの心をとらえる冒険の昔話「一寸法師」を題材にして、勇気を持つことの大切さを伝えることができるようにする。			
7	テーマ5冒険「桃太郎」	鬼ヶ島遠征譚である「桃太郎」を題材にして、平和の大切さ、愛国心の大切さを伝えることができるようにする。			
8	テーマ6悪と欲「瘤取爺」「舌切雀」「花咲爺」	勸善懲悪を扱った昔話の強欲な婆爺を扱った話を題材にして、人間の心の中にある「悪と欲」に打ち勝つことの大切さを伝えることができるようにする。			
9	テーマ7報復「猿蟹合戦」	正当な報復を語った昔話「猿蟹合戦」を題材にして、報復することのむなしさと終わりのなさを伝えることができるようにする。			
10	テーマ7報復「かちかち山」	正当な報復を語った昔話「かちかち山」を題材にして、報復することのむなしさと終わりのなさを伝えることができるようにする。			
11	テーマ8笑いとおんち「餅は本尊様」「茶栗柿麩」	笑話と呼ばれる昔話を題材にして、ユーモアの大切さと、人生にゆとりをもつことの大切さを伝えることができるようにする。			
12	テーマ9友情「旅人馬」	他者の人格を大切にすることが真の友情である。その友情を扱った「旅人馬」を題材にして、友情の大切さを伝えることができるようにする。			
13	テーマ10時代「浦島太郎」	「浦島伝説」を題材にして、日本文化に親しむことの大切さを伝えることができるようにする。			
14	テーマ10時代「浦島太郎」	「浦島伝説」を題材にして、日本文化に親しむことの大切さを伝えることができるようにする。			
15	まとめ	保育士としての仕事の中に「昔話」や「児童文学」を取り入れ、子どもたちの心を豊かにすることができるようにする。			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査(講義内容についての筆記試験60点、作文40点)により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
真野須美子(著)『日本の昔話の変遷・メッセージ』明治図書出版、2015					
【参考書】					
関敬吾(著)『日本昔話集成』角川書店、1970					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	社会福祉	担 当	上野 智子		
【授業の概要】					
社会福祉の概念や理念、歴史的変遷及び現代的課題といった全体像および各制度における実施機関や専門職等、社会福祉に関する知識について説明し、社会福祉全体における児童家庭福祉の位置づけおよび役割を意識させる。					
【授業の到達目標】					
児童福祉制度が、社会福祉制度全体のなかで、どのような位置づけ・役割を担っているかを理解するとともに、子どもを通じて、その親や家族が必要としている支援について考え、適切な支援につなげていけるよう、各制度や専門職等について理解する。					
【授業の計画】			【内 容】		
1	社会福祉の理念と歴史的変遷	社会福祉の概念、理念 ・歴史的変遷、現代的課題			
2	子ども家庭支援と社会福祉	専門職としての保育士 ・子ども家庭支援の目的、課題			
3	社会福祉の制度と法体系	社会福祉制度の法体系、種類、具体的内容			
4	社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等	社会福祉の行財政、費用負担 ・社会福祉施設			
5	社会福祉の専門職	社会福祉専門職の概要 ・地域における他職種等の連携、協働			
6	社会保障および関連制度の概要	社会保障制度の概要と役割 ・子育て世帯の現状			
7	相談援助の理論	相談援助理論の体系化、発展 ・相談援助理論			
8	相談援助の意義と機能	相談援助の特徴、原則、意義と機能			
9	相談援助の対象と過程	保育における相談援助とその対象、プロセス			
10	相談援助の方法と技術	保育現場における相談援助 ・相談援助の方法と技術			
11	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	利用者の権利擁護と苦情解決 ・情報提供と第三者評価			
12	少子高齢化社会における子育て支援	人口動態と少子化の現状、要因 ・少子化対策			
13	共生社会の実現と障害者施策	障害者のとらえ方、現状 ・共生社会の実現に向けて			
14	在宅福祉・地域福祉の推進	地域福祉の概念、方法 ・ニーズ把握 ・連携とネットワーク			
15	諸外国の社会福祉の動向	社会福祉と福祉国家 ・諸外国の社会福祉の歴史と動向			
【成績評価の方法と基準】					
筆記試験70点、提出物・レポート20点、受講態度10点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)松原康雄・坪洋一・金子充(編)『新・基本保育シリーズ④ 社会福祉』中央法規、2019					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					
提出できる専用の大学ノートかルーズリーフ(B5又はA4サイズ)を準備すること。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	臨床心理学	担当	長谷川 美枝子 (実務経験者)		
児童養護施設に心理職として勤務 現在、総合病院でカウンセラーとして勤務					
【授業の概要】					
臨床心理学の背景となる理論や臨床的検査の理論とアセスメントの理論、心のトラブルから立ち直るための臨床心理学的援助法、問題行動のある子どもや気になる子どもへの理解と対応、保育者自身の成長について教授する。					
【授業の到達目標】					
子どもや保護者が心にトラブルを抱えた時、保育者として心理学的アプローチで援助し、対応・解決することができるよう、臨床心理学理論を理解し、臨床心理学的技術・実践方法を修得することを目標とする。					
【授業の計画】			【内容】		
1	第1章 臨床心理学とは	①臨床心理学の成り立ちと歴史 ②発達の基礎理論			
2	第2章 各ライフステージにおける発達臨床	①出生前および周産期 ②新生児期 ③乳児期 ④幼児期			
3		⑤児童期 ⑥青年期 ⑦成人期			
4		⑧高齢期 ⑨現代社会のなかの家族			
5		①障害とは ②精神疾患とは ③代表的な精神疾患(その1)			
6	第3章 障害児の心理臨床	代表的な精神疾患(その2)			
7		④発達障害とは ⑤代表的な発達障害(その1)			
8		代表的な発達障害(その2)			
9		①発達支援とは ②発達支援を支える理論			
10	第4章 発達の支援	③子どもの心理アセスメント ④子どもの心理療法			
11		⑤保育現場における子育て支援・家族支援、専門機関との連携			
12		①カウンセリングマインド ②傾聴			
13	第5章 保育者の成長	③アサーション ④DESC法			
14		⑤質問への応答 ⑥応答の深さ			
15		⑦保育者自身が支えられることの意味			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査60点、小テスト30点、課題レポート10点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
配付資料					
【参考書】					
松原達哉(編)『史上最強カラー図解 ー臨床心理学のすべてがわかる本ー』ナツメ社、2017					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 通年(前期)	専門科目	必修	通年2単位 前期30時間	授業形態(演習)
科目名	子どもの食と栄養	担 当	谷野 真弓		
【授業の概要】					
<p>子どもの食と栄養は、心身の健やかな発達や食生活、食習慣を形成し、生涯にわたる健康の基礎へとつながる重要な役割を持つ。健全な食生活の意義や栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達と食生活の関係について解説し、理解を深めさせる。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解する。 ・子どもの発育・発達に応じた栄養と食生活について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子どもの健康と食生活の意義①	子どもの心身の健康と食生活			
2	子どもの健康と食生活の意義②	子どもの食生活の現状と課題、朝食欠食についての考察			
3	栄養の基本①	栄養とは、食べ物のゆくえ			
4	栄養の基本②	栄養の摂り方、子どもの栄養の特徴			
5	栄養素の種類と働き①	炭水化物・脂質の種類と働き			
6	栄養素の種類と働き②	タンパク質・ミネラルの種類と働き			
7	栄養素の種類と働き③	ビタミンの種類と働き、水分代謝			
8	日本人の食生活の目標	日本人の食事摂取基準(2020年版)、食事バランスガイドによる食生活自己診断			
9	献立作成・調理の基本	献立作成・調理の基本、1日分の献立作成			
10	乳児期の授乳の意義と食生活①	乳児期の栄養・食生活の特徴、母乳栄養			
11	乳児期の授乳の意義と食生活②	人工栄養、混合栄養、母乳育児の留意点			
12	乳児期の離乳の意義と食生活①	離乳の定義と必要性、離乳食の進め方①			
13	乳児期の離乳の意義と食生活②	離乳食の進め方②、離乳期の食生活の問題と対応			
14	幼児期の心身の発達と食生活①	幼児期の成長と発達、幼児期の栄養			
15	幼児期の心身の発達と食生活②	幼児期の食の問題と気になる食行動			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査60点、授業態度25点、課題15点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>児童育成協会(監)堤ちはる・藤澤由美子(編)『新・基本保育シリーズ⑫ 子どもの食と栄養』中央法規、2019</p>					
【参考書】					
<p>随時指示する。</p>					
【備 考】					

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容総論	担当	江良 愛子 (実務経験者) 幼稚園に教諭及び副園長として勤務		
【授業の概要】					
討議やグループワーク、保育所保育指針の読み取り等を通して、保育の全体的な構造や保育内容の基本的な考え方の理解とともに、保育実践構想力を高める。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。 ・保育所保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。 ・保育の基本を踏まえた保育内容の展開について理解する。 ・保育の多様な展開について具体的に理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育所保育指針の基本的考え方	規範性を有する保育所保育指針改定の背景・要点の理解			
2	保育所の役割・社会的責任	最善の利益尊重、環境を通じた養護・教育の一体化等について			
3	保育の目標・方法・環境	六つの目標、自己発揮、個人差、応答的環境、人と関わる力			
4	幼児教育を行う施設として共有すべき事項	生きる力の基礎を培うための3つの資質・能力についての理解			
5	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	ア健康な心と体 イ自立心 ウ協同性 エ道徳性 オ社会生活との関わり			
6	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	カ思考力の芽生え キ自然との関わり ク数量・図形・文字 ケ言葉 他			
7	基本的事項と環境構成	各年齢期ごとの成長・発達の姿と環境構成のポイント			
8	1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育	「健康」のねらい、内容、配慮事項についての理解			
9	1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育	「人間関係」のねらい、内容、配慮事項についての理解			
10	1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育	「環境」のねらい、内容、配慮事項についての理解			
11	1歳以上3歳未満児、3歳以上児の保育	「言葉」「表現」のねらい、内容、配慮事項についての理解			
12	遊びを通じた総合的な保育	諸能力が相互に関連し合い総合的に発達する遊びについて			
13	子どもの主体性を尊重する保育	自ら環境に働きかけ豊かな体験を得るための保育士の援助			
14	個と集団の発達を踏まえた保育	集団での育ちについて事例を通しての学び合い			
15	まとめ	学びの振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査70点、課題の提出10点、学習ノートの整理10点、授業への積極的な取り組み等10点により判断する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし。					
【備 考】					

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(健康Ⅱ)	担 当	工藤 冴		
【授業の概要】					
領域「健康」に関わる保育場面を想定し、指導計画の作成、環境の構成、省察・評価・改善等について、グループワークを通じた協働的な学び合いの中で理解を深め、保育構想力の向上を図る。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解する。 ・領域「健康」のねらい及び内容と他領域との関連について理解する。 ・具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成・教材の活用と工夫、計画・実践・省察・評価の実際について理解する 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	基本的生活習慣	基本的生活習慣の獲得と課題			
2	安全管理と安全教育①	子どもの身体的特徴と不慮の事故			
3	安全管理と安全教育②	園における安全管理と安全教育			
4	危険という言葉の読み解き方	リスクとハザードのとりえ方			
5	自分の身を守ることを子どもたちに伝える①	グループワーク(活動の流れ、導入の工夫、援助について)			
6	自分の身を守ることを子どもたちに伝える②	グループワーク(ねらいや内容の設定)			
7	グループごとの指導案発表①	指導案の発表・意見交換			
8	グループごとの指導案発表②	指導案の発表・意見交換			
9	グループごとの指導案発表③	指導案の発表・意見交換			
10	指導案の作成・改善	意見交換を通しての学びをもとに、各自指導案作成			
11	子どもの遊びと生活文化	発達に伴う遊びの変化、行事や食文化			
12	子どもの健康を支える協働	小学校との接続・連携と生涯発達			
13	現代的課題と領域「健康」①	グループワーク(テーマ設定・討議・まとめ)			
14	現代的課題と領域「健康」②	発表・討議・まとめ			
15	まとめ	授業のまとめ、振り返り			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査60点、受講態度・グループワークでの取り組み・提出物40点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。</p> <p>評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>井狩芳子(著)『演習 保育内容「健康」—大人から子どもへつなぐ健康の視点』萌文書林、2018</p> <p>厚生労働省(編)『保育所保育指針解説書』フレーベル館、2018</p>					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(人間関係Ⅱ)	担 当	久保田貴子 (実務経験者)		
幼稚園に教諭及び園長として勤務					
【授業の概要】					
「自立心を育て、人と関わる力の基礎を培う」ための保育士の援助や関わりについて理解を深める。また、具体的な保育実践を想定した指導計画作成・省察・評価等をグループワークを通して学び合うことにより保育構想力の向上をはかる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらい及び内容、内容の取扱いを理解する。 ・個と集団の育ち、自立心・協同性・道徳性の芽生え等の視点から、人と関わる力の基礎を培う援助のあり方を理解する。 ・具体的な保育場面を想定した指導計画の作成、実践・省察・評価・改善・評価の実際について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	人との関わりに関する領域「人間関係」①		3歳未満児のねらいや内容、内容の取扱いの理解		
2	人との関わりに関する領域「人間関係」②		3歳以上児のねらいや内容、内容の取扱いの理解		
3	個と集団の育ち		個と集団の関係について事例を通して理解する		
4	集団で活動する楽しさ・協同性の育ち		DVD「いっしょにやろうよ」視聴(協同性、保育者の援助について)		
5	ポウルヴィの愛着関係理論		人との関わり方の基盤と愛着関係形成の重要性についての理解		
6	自立心の育ち		自立心と依存、自立心を育む保育のあり方の理解		
7	道徳性・規範意識の育ち		「道徳性の芽生え」の理解と保育者の関わり方の重要性		
8	指導計画作成① グループワーク		「ルールのある遊び」の保育指導案作成		
9	指導計画作成② グループワーク		「ルールのある遊び」の保育指導案作成		
10	指導計画作成③ グループワーク		「ルールのある遊び」の保育指導案作成		
11	指導計画に基づくグループごとの保育実践①		実践・省察・評価・改善①		
12	指導計画に基づくグループごとの保育実践②		実践・省察・評価・改善②		
13	現代社会と人との関わり①		ICTと幼児期の人間関係、親の生き方の変化と親子の関わりについて		
14	現代社会と人との関わり②		人との豊かな関わりを育む乳幼児期の保育・教育のあり方①		
15	現代社会と人との関わり③		人との豊かな関わりを育む乳幼児期の保育・教育のあり方②		
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査70点、課題提出20点、積極的な授業態度10点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
無藤隆(監)岩立京子(編)『事例で学ぶ保育内容 領域 人間関係』萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					
乳幼児期の子どもの発達や遊びの状況などに関心を持ち、情報の収集に努めましょう。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育内容(言葉Ⅱ)	担 当	梶原 礼 (実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
子どもの言葉の発達過程を理解させるとともに、領域「言葉」の指導の具体的内容や方法、保育者の役割等について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを取り巻く言葉の世界について理解する。 ・乳幼児の言葉の発達を育むための望ましい指導方法を身につける。 ・実践を通し、表現力や創造力を育てる方法を身につける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子どものことばと保育の実際①	子どもの生活と言葉、子どもの遊びと言葉			
2	子どものことばと保育の実際②	「聞く」ことを通した体験、「話す」ことを通した体験			
3	子どものことばと保育の実際③	書き言葉が伝える世界			
4	子どもの生活と言葉①	信頼関係から生み出される言葉			
5	子どもの生活と言葉②	自分の考えや思いを伝える言葉、感情体験と言葉			
6	ことばをめぐる現代的課題と領域「言葉」	言葉の発達が気になる子ども、情報化のなかの子どもと言葉			
7	指導計画と指導の実際①	指導案に基づく実践①			
8	指導計画と指導の実際②	指導案に基づく実践②			
9	指導計画と指導の実際③	指導案に基づく実践③			
10	指導計画と指導の実際④	指導案に基づく実践④			
11	指導計画と指導の実際⑤	指導案に基づく実践⑤			
12	オリジナル絵本作成①	絵本について、絵本制作			
13	オリジナル絵本作成②	絵本制作			
14	オリジナル絵本作成③	絵本製作			
15	オリジナル絵本作成④、まとめ	絵本発表、領域「言葉」のまとめ			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査50点、作品・課題提出25点、実践・受講態度25点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>藪中征世・玉瀬友美・星野美穂子(編)『新版 保育内容・言葉 -乳幼児のことばを育む-』教育出版、2017 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018</p>					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	身体表現 I	担当	工藤 冨		
【授業の概要】					
グループで協力しながら、子どもの発達段階に応じた運動遊びのあり方を考え、保育者としての視点を持つことが出来るよう教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の基本的な身体の使い方を理解する。 ・様々な運動用具の使い方を理解し、発展や応用が出来る。 ・グループで互いの考えを出し合ったり受け入れたりして、コミュニケーションを取ることができる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	ガイダンス、ストレッチ、ふれあい遊び			
2	身近なものを使った運動遊び①	新聞紙などを使った運動遊び			
3	身近なものを身体で表現	動物や植物などを自分の身体で表現する			
4	音を身体で表現	風の音などを聞いて自分なりの表現をする			
5	日常生活を身体で表現	普段の生活を振り返り、身体全体を使って表現をする			
6	運動用具の特性を考える①	フラフープや縄跳びでどのような動きが出来るか考える			
7	運動用具の特性を考える②	ボールでどのような動きが出来るか考える			
8	発達段階に応じた遊びの発展	発達段階に応じておにごっこを変化させる			
9	グループで発達段階に応じた遊びの発展①	グループ分け、遊びを考える(フラフープ・縄跳び・ボールを使う)			
10	グループで発達段階に応じた遊びの発展②	グループで遊びを考える			
11	グループで発達段階に応じた遊びの発展③	グループで考えた遊びを発表する			
12	グループで発達段階に応じた遊びの発展④	グループで考えた遊びを発表する			
13	グループで発達段階に応じた遊びの発展⑤	それぞれのグループの反省			
14	グループで発達段階に応じた遊びの発展⑥	全体での反省			
15	まとめ	まとめ、各自の感想や反省			
【成績評価の方法と基準】					
表現技術60点、授業態度・提出物40点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
特になし。					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					
実技授業の為、原則見学はできません。体調管理をしっかり行ってください。また、体操服・運動靴・筆記用具を準備してください。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	音楽表現Ⅲ	担当	関 純子		
【授業の概要】					
発声の基礎や表現の基礎を習得させ、保育者として子どもに好かれる声の出し方、歌い方を学ばせると同時に作曲の基礎を学ばせて、最終的には、オペレッタ「白鳥の王子」をクラスで作りに上げる。					
【授業の到達目標】					
・響きのある声が出せるようになり、自ら音楽を作って楽しく表現できるようになり、自分のめざす保育者に向かって、表現力豊かな人になる。					
【授業の計画】			【内容】		
1	発声の基礎Ⅰ	自分の名前に節をつけて自己紹介する			
2	発声の基礎Ⅱ	ハーモニーの基礎を学ぶ・混声合唱のカデンツの練習			
3	発声の基礎Ⅲ	母音の響きを学ぶ・音程を正確に取る			
4	表現の練習Ⅰ	喜怒哀楽を表現する			
5	表現の練習Ⅱ～わらべ歌の作曲	寒い、暑いを音で表現する～身近な題材からわらべ歌を作る			
6	クラスの歌を作る	クラスの特徴を歌詞にして一人ずつ作曲する			
7	「白鳥の王子」のキャストを決める	オーディションをしてA組B組を決める			
8	「白鳥の王子」のキャストを決める	話し合いで調整			
9	「白鳥の王子」の練習①	オペレッタの練習・わらべ歌の発表			
10	「白鳥の王子」の練習②	オペレッタの練習・クラスの歌の発表			
11	「白鳥の王子」の練習③	オペレッタの練習・衣装の制作			
12	「白鳥の王子」の練習④	オペレッタの練習・衣装の制作			
13	「白鳥の王子」の練習⑤	衣装をつけての練習及び感想発表			
14	伴奏法とコードネームについて	同じ曲でもいろいろな和音の可能性を知ることを知る			
15	オペレッタの練習と今後の課題について	どうしたらわかりやすく楽しんでもらえるか考える			
【成績評価の方法と基準】					
オペレッタの取り組みや発表70点、わらべうたの作曲①10点、わらべうたの作曲②10点、クラスの歌の作曲10点により評価する。100点満点で評価し、60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
聖徳大学(編)『子どもと歌おう！新版「幼児とともに」』聖徳大学出版部、2014 小畑秀樹・渡辺明子・春日保人(著)『「音楽の理論」保育者・教師をめざすあなたへ』共同音楽出版社、2016					
【参考書】					
井出真生(著)『おはなしミュージカルー シンデレラをお手伝いー より「白鳥の王子」』ドレミ出版、2013 山崎広子(著)『人生を変える声のちから』NHKテキスト、2017					
【備考】					

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	造形表現Ⅱ	担 当	工藤 祐子		
【授業の概要】					
ワークシートによる演習をとおして、造形表現の指導に必要な資質や能力を身に付けさせる。また、子どもの描画理解を深めさせ、発達段階に応じた造形指導ができるよう教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針の内容や造形指導に関する事項を演習を通して理解する。 ・表現及び鑑賞の発達段階及び幼児期の個性的表現を理解する。 ・表現及び鑑賞の経験から知識・技能、発想・構想力を養う。 ・保育の造形指導にふさわしい教材や指導方法を研究することができる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	ガイダンス	授業内容を知る。			
2	変身カード①	柔軟な発想力を鍛える。アイデアスケッチをし構想を練る。			
3	変身カード②	カードを制作する。完成したカードを発表しお互いに鑑賞し良い点を文章で表す。			
4	お弁当を作ろう①	各粘土の特性を知る。アイデアスケッチを描き、紙粘土でパーツを作る。			
5	お弁当を作ろう②	紙粘土でパーツを作る。			
6	お弁当を作ろう③	紙粘土でパーツを作り、お弁当に詰める。			
7	お弁当を作ろう④	紙粘土でパーツを作り、お弁当に詰める。完成作品を写真撮影をする。お互いの作品を鑑賞する。			
8	開いて発見、にじみの世界 一染め紙一①	紙を染める面白さを発見し、染めたいイメージを持ちながら染める。			
9	折って切って見つけて素敵なかたち一切り絵一②	紙を折って切ることで様々な形が表れる切り絵技法を修得する。			
10	染め紙・切り絵一③	染め紙と切り絵を使って作品をつくる。(うちわ・ランプシェード・ブックカバーなど)			
11	スチレン版画カレンダーの制作①	版画の種類と技法の違いを理解し、スチレン版画によるカレンダーを制作する。			
12	スチレン版画カレンダーの制作②	担当月を決め、アイデアスケッチや版作りを進める。			
13	スチレン版画カレンダーの制作③	版を全員の枚数分印刷する。			
14	スチレン版画カレンダーの制作④	全員のカレンダーを各月に揃えて製本する。			
15	造形ノートのまとめ	課題ごとに造形ノートにまとめ、自己評価票を記入する。			
【成績評価の方法と基準】					
<p>演習作品70点、授業への取り組み(関心、意欲、態度)や「造形ノート」(授業での演習作品の評価、学習内容の記録、考察、鑑賞)30点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。</p> <p>評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
北沢 昌代・畠山 智宏・中村 光絵(著)『子どもの造形表現 第2版 ーワークシートで学ぶー』開成出版、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備 考】					
事前に必要な用具や準備物を連絡するので忘れないように注意する。					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	器楽Ⅲ	担当	渡邊 砂子 関 純子 米田 昌子 田北 嘉奈子 安部 千鶴		
【授業の概要】					
保育に必要な音楽教育のために、テキスト教材を使った個人授業を行い、ピアノの演奏技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学んだ内容を基礎に保育者に求められるピアノの演奏形態と音楽表現の基礎を身に付ける。 ・子どもの歌を曲の表情に合わせて表現する力を身に付ける。 ・マーチやスキップなど、子どもの動きに合わせて演奏する力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	バイエル:二長調の音階、子どもと歌おう! :「おはようのうた」	二長調のスケールとカデンツを理解して弾く			
2	バイエル:~41番、子どもと歌おう! :「ちょうちょう」 「給食のうた」	掛け合う左右のメロディ、ドレミ唱、付点のリズム			
3	バイエル:~41番、子どもと歌おう! :「むすんでひらいて」	メロディの流れと10度下の音の並進行に気を付けてレガートで弾く			
4	バイエル:~イ長調の音階	イ長調のスケールとカデンツを理解して弾く、和音進行			
5	バイエル:~43番、レパートリー:「野ばらに寄す」	掛け合う左右のメロディ、イ長調の和音進行、ディナーミク			
6	バイエル:~43番、子どもと歌おう! :「やぎさんゆうびん」	3度の重音の進行、柔軟な手首のオクターブ移動			
7	バイエル:~44番、子どもと歌おう! :「ねこふんじゃった」「ありさんのおはなし」	装飾音、腕の交差、拍子、転調			
8	バイエル:~44番、子どもと歌おう! :「おかあさん」	スラーによるアーティキュレーション、ノンレガート奏			
9	バイエル:~44番、子どもと歌おう! :「動物園へ行こう」	アイ・アンド・スパン、短い音の作り出す横の音の動き			
10	バイエル:~45番、子どもと歌おう! :「ハッピーバースデイトゥーユー」「ジングルベル」	弱起と3拍子、連打する音の運指			
11	バイエル:~45番、子どもと歌おう! :「ぼくのミックスジュース」	下屬調への転調、フェルマータの間合い			
12	バイエル:~45番、子どもと歌おう! :「山の音楽家」「思い出のアルバム」	IとV7のテンポのよい和音進行、8分の6拍子の曲での滑らかな演奏			
13	バイエル:~45番、子どもと歌おう! :「せんせいとおともだち」「あめふり」、レパートリー:「リンロンマーチ」	弾む付点のリズム、オクターブの跳躍			
14	バイエル:~54番、	イ短調の響き、バスの持続音、平行調への転調			
15	前学期の課題の復習・まとめ	課題曲で行う実技試験			
【成績評価の方法と基準】					
<p>課題曲で行う実技試験70点、授業時の実技評価及び授業態度30点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>音楽 I 研究室(編)『子どもと歌おう! <新版>幼児とともに』聖徳大学出版部、2011 音楽 I 研究室(編)『子どもと遊ぼう! ピアノ・レパートリー』聖徳大学出版部、2011 音楽 I 研究室(編)『バイエル』聖徳大学出版部、2017</p>					
【参考書】					
特になし					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	子どもの健康と安全	担 当	片倉 孝子 (実務経験者) 病院に看護師として勤務		
【授業の概要】					
演習・実技・グループワーク等による授業を展開し、子どもの保健に関する知識と技術の実践力の向上を図るとともに、子どもの健康と生命を守る保育者としての責任の自覚及び保育観の形成を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育における保健的観点、保育環境、援助について理解する。 ・ 子どもの感染対策と適切な対応を理解する。 ・ 子どものアレルギー対応・事故対応を理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育における保育環境の援助	保健的観点を踏まえた援助の理解 物的・人的環境についてグループワーク			
2	子どもの保健に関する個別対応	子どもの症状の観察ポイントを抽出しグループワーク			
3	保育における衛生管理	子どもの望ましい衛生環境について			
4	保育における事故防止及び安全対策	保育施設での事故対応・ガイドライン			
5	災害への備えと危機管理	災害対策と危機管理・ハザードマップ等も参考			
6	子どもの体調不良 障害時の対応	子どもの特徴・疾患・バイタルサイン等の確認(実技)			
7	救急処置・救急蘇生法	けがへの対応・応急処置(ファーストエイド)(実技)			
8	感染症の集団発生と予防・対応	スタンダードプリコーションの理解(感染防御作製)			
9	保育における保健的対応	個別的対応を要する子どもへの対応・与薬方法			
10	3歳児未満児への適切な対応	3歳未満児の特徴と留意点			
11	個別的配慮を必要とする子どもへの対応	慢性疾患・アレルギーのある子どもへの配慮と留意点「エビペン取扱い等」			
12	障害児への対応	障害の理解・医療的ケアの理解			
13	職員間の連携・協働・組織的取り組み	組織内での報告・連絡・相談			
14	保育における保健計画及び評価	子どもの身体計測の「身長・頭囲・胸囲」(実技)			
15	子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携	子育て支援と地域連携・医療的ケア児の支援を考える			
【成績評価の方法と基準】					
前学期定期考査80点、授業態度20点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)松田博雄・金森三枝(編)『新 基本保育シリーズ⑩ 子どもの健康と安全』中央法規、2019					
【参考書】					
保育所におけるアレルギー対応ガイドライン 厚生労働省、2019 保育所における感染症対策ガイドライン 厚生労働省、2018 教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン 内閣府・文部科学省・厚生労働省、2016 等					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 通年(前期)	専門科目	必修	通年2単位 前期30時間	授業形態(演習)
科目名	障害児保育	担当	安東 和子		
【授業の概要】					
障害児保育の対象となる子ども達の障害の状態等は多様化の傾向にある。また、関係法令の改正等、子ども達を取り巻く環境は急激に変化している。そこで、講義や演習、協議等をとおして子ども達の障害の状態への理解と小学校への円滑な移行に向けた取組について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害のある子ども達の保育について理解する。 ・子ども一人一人の特性や心身の状態等に応じた援助や配慮について理解する。 ・保育現場における特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解するとともに、家庭への支援や関係機関との連携の現状と課題について理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	「障害」の概念と障害児保育の歴史的変遷	「障害」の概念、障害児保育の歴史的変遷について学び、障害児保育の現状と課題を理解する。			
2	地域社会への参加・包容および合理的配慮の理解①	インクルーシブ保育、社会的障壁と合理的配慮等について理解する。			
3	地域社会への参加・包容および合理的配慮の理解②	身近な社会的障壁を知り、合理的配慮について具体的な事柄について理解する。			
4	肢体不自由児の理解と援助①	肢体不自由児の臨床像、起因疾患、心理特性と保育のねらいについて理解する。			
5	肢体不自由児の理解と援助②	肢体不自由の体験演習をとおして実態把握の視点を学ぶとともに他機関との連携、教育の動向を理解する。			
6	知的障害児の理解と援助①	知的障害の障害の状態、特性、援助の観点、医療と福祉等関係機関との連携について理解する。			
7	知的障害児の理解と援助②	知的障害特別支援学校の見学をとおして、知的障害のある児童生徒の「生きる力」を育む特別支援教育の内容や「就労」に向けた支援を具体的に学ぶ。			
8	知的障害児の理解と援助②				
9	視覚・聴覚・言語障害児の理解と援助①	視覚・聴覚障害・言語障害のそれぞれの特性や援助の視点を学ぶ。			
10	視覚・聴覚・言語障害児の理解と援助②	障害体験や演習をとおして、障害への理解を深め、保育における課題について理解する。			
11	発達障害児の理解と援助(ADHD、LD、ASD)①	ADHD、LD、ASDのある子どもの特性とその特性に応じた対応を理解する。			
12	発達障害児の理解と援助(ADHD、LD、ASD)②	ADHD、LD、ASDのある子どもの特性に基づく保育と、二次障害の予防について理解する。			
13	重症心身障害児、医療的ケア児、その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助①	重症心身障害児、医療的ケア児、愛着障害のについて、その特長と支援について学ぶ。			
14	重症心身障害児、医療的ケア児、その他の特別な配慮を必要とする子どもの理解と援助②	重症心身障害児や医療的ケア児等の子どもの代替コミュニケーションについて理解する。			
15	指導計画及び個別の支援計画の作成①	個別の支援計画や指導計画についての意味や記載内容について学ぶ。			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査50点、課題提出・配布資料の整理40点、受講態度10点 前学期・後学期の成績を平均し、通年で評価。100点満点で評価し、評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
児童育成協会(監)西村重稀・水田敏郎(編)『新基本保育シリーズ⑰ 障害児保育』中央法規、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備考】					
知的障害特別支援学校の学校見学を行う予定。					

基本情報	2年 前期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	社会的養護Ⅱ	担当	安東 和子		
【授業の概要】					
<p>社会的養護の施設で生活する子どもたちの背景と自立に向けた支援、家庭への支援について講義や演習をとおして、理解を深めさせるとともに、児童の権利擁護の現状と課題、制度・施策等、社会的養護のもとで生活する子どもへ携わる保育士としての専門性の向上を図る。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会的養護の基礎的な内容について理解する。 ・社会的養護、家庭養護における生活特性とその実際について理解する。 ・社会的養護における計画・記録・自己評価の実際、相談援助の方法・技術について理解する。 ・子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	子どもの権利擁護	子どもの権利擁護の基本を学び、子どもの権利擁護の質の向上を図るための方法を理解する。			
2	社会的養護における子どもの理解	子ども理解のための方法を学び、社会的養護のもとで生活する子どもやその家庭環境等について理解を深める。			
3	社会的養護の内容① 日常生活支援	日常生活支援の内容について学び、日常生活の特徴、支援の在り方について考える。			
4	社会的養護の内容② 心理的支援	心理的支援の目的と特徴、心的支援の実際について学び養育者支援について理解を深める。			
5	社会的養護の内容③ 自立支援	社会的養護の退所後の進路状況から、家庭や地域との調整、自立支援に必要な視点を理解する。			
6	施設養護の生活特性及び実際① 乳児院等	乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設について支援の対象や生活特性について理解する。			
7	施設養護の生活特性及び実際② 障害児施設等	児童心理治療施設、児童自立支援施設、障害児施設について支援の対象や生活特性について理解する。			
8	家庭養護の生活特性及び実際	養育里親や養子縁組など家庭養護について学び、家庭養護の意義と課題について理解する。			
9	アセスメントと個別支援計画の作成	自立支援計画作成のための手順と内容について学び、社会的養護における自立支援について理解する。			
10	記録および自己評価(ケースカンファレンス)	社会的養護における記録の意義や役割、内容等を学び、個人情報の保護、ケースカンファレンス理解する。			
11	社会的養護における保育の専門性に関わる知識・技術とその実際	社会的養護における保育士の知識・技術等、専門的知識の必要性、実践力を身に付ける方法について学ぶ。			
12	社会的養護にかかわる相談援助の知識・技術とその実際	社会的養護におけるソーシャルワークの知識・技術、対応の方法を学ぶ。			
13	社会的養護におけるソーシャルワーク(知識・技術とその応用)	社会福祉法人におけるソーシャルワークの意味・知識・技術について理解する。			
14	社会的養護における家庭支援	家庭支援の内容、支援体制について学び、今後の社会的養護と家庭支援の在り方について考える。			
15	今後の社会的養護の課題と展望	「社会的養護の課題と将来像」等の報告を理解するとともに、社会的養護の今後の在り方について考える。			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査50点、課題レポート40点、受講態度10点の100点満点で評価し、評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>児童育成協会(監)相澤仁・村井美紀・大竹智(編)『新基本保育シリーズ⑩社会的養護Ⅱ』中央法規、2019</p>					
【参考書】					
<p>特になし</p>					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	選択必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実習指導Ⅱ(保育所)	担 当	江良 愛子(実務経験者) 佐藤 みつよ(実務経験者) 渡邊 砂子 幼稚園に教諭及び副園長として勤務 幼稚園に教諭として勤務		
【授業の概要】					
保育実習Ⅰの経験や学びを活かして、保育所保育の基本、園児の実態に応じた保育士の援助や環境構成のあり方、立案・実践の方法などを総合的に理解できるようにする。また、実習終了後に本実習を振り返ると同時に、2年間の実習成果と自己課題を認識できるようにしていく。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解するとともに、保育の実践力を習得する。 ・保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 ・保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ・実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育実習ⅠAの反省会	保育実習Ⅰの自己課題の明確化、意見交換及び学び合い			
2	保育実習Ⅱに向けて(実習園の決定)	実習園への依頼(オリエンテーションを含む)電話			
3	実習日誌の書き方 実習日誌綴り作成	実習日誌の書き方の確認 実習日誌ファイル作成			
4	指導案の意義と書き方	指導案作成のポイント 20分程度の指導案作成			
5	模擬保育、意見交換会①	指導案にそって模擬保育、評価、省察、改善①			
6	模擬保育、意見交換会②	指導案にそって模擬保育、評価、省察、改善②			
7	模擬保育、意見交換会③	指導案にそって模擬保育、評価、省察 改善③			
8	模擬保育、意見交換会④	指導案にそって模擬保育、評価、省察、改善④			
9	指導案の作成	1時間程度の部分実習指導案作成			
10	実習園事前オリエンテーションに向けて	プロフィール・誓約書作成、実習園提出書類準備			
11	保育所保育の役割と機能、専門職としての倫理	保育の目標・保育の方法・保育所の特性・社会的責任・職業倫理等についての確認			
12	実習園事前オリエンテーション	実習に備えて準備しておくことについての確認			
13	保育実習Ⅱに向けて	保育実習の心構えと準備 健康診断 持参書類の確認			
14	保育実習Ⅱの事後指導①	実習報告会 自己評価			
15	保育実習Ⅱの事後指導②	評価票面接 自己課題の明確化と卒業までの学習計画			
【成績評価の方法と基準】					
課題提出(指導案・プロフィール・その他の提出物)70点、受講態度20点、配布資料の整理10点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

基本情報	2年 前期	専門科目	選択必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実習指導Ⅲ(施設)	担当	安東 和子 梶原 礼(実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
保育実習ⅠA(保育所)・ⅠB(施設)を振り返り、今後実施予定の保育実習Ⅲに向けた一人一人の実習への課題を明らかにし準備させる。また、施設での実習の経験を生かし、福祉援助の内容や方法等について理解を深め、実践力を養う。実習後には、自己評価を通して施設保育士として実践力の向上を図る。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。 ・ 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する。 ・ 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。 ・ 保育士の専門性と職業倫理について理解する。 ・ 実習の事後指導をとおして、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	保育実習Ⅲ(施設)の意義と目的	保育実習Ⅰの実習成果と課題から、保育実習Ⅲの意義や目的等について理解を深める。			
2	保育実習Ⅲ(施設)に向けた実習課題	個別面談を行い、自己の学びを深め、保育実習への自己課題を明確にする。			
3	保育実習Ⅲ(施設)の決定と自己課題の明確化	保育実習Ⅲの施設の決定、実習への自己課題の明確化・自己課題の解決の方策について検討する。			
4	実習日誌の記録の書き方と考察	保育実習ⅠB(施設)での実習日誌の記述内容の検討を通して、よりよい実習日誌の記載について理解を深める。			
5	部分実習等指導案の書き方	指導案の形式と記述内容について理解し、部分実習について実際に指導案を作成する。			
6	指導案による部分実習の実践①	部分実習の指導案に沿って、互いに意見交換を行う。(部分実習20分・意見交換10分程度・整理10分数名程度)			
7	指導案による部分実習の実践②	部分実習の指導案に沿って、互いに意見交換を行う。(部分実習20分・意見交換10分程度・整理10分数名程度)			
8	指導案による部分実習の実践③	部分実習の指導案に沿って、互いに意見交換を行う。(部分実習20分・意見交換10分程度・整理10分数名程度)			
9	部分実習指導案の改善	意見交換にて助言された内容をもとに、部分実習の指導案を検討し、指導案を完成させる。			
10	事前オリエンテーションの準備①	実習施設への電話連絡、オリエンテーションの日時、持参書類等を確認する。			
11	事前オリエンテーションの準備②	プロフィールの作成、事前オリエンテーションの際に確認する内容などについて確認・準備する。			
12	保育実習の施設の特色や子どもの実態等	実習形態(宿泊、通所等)、実習施設の特徴、利用している子どもへの対応などについて整理し心構えを確認する。			
13	施設における保育士の役割及び他の職員との連携	施設における保育士の専門性と職業倫理、児童支援に係る他職種の職員との連携について、理解を深める。			
14	保育実習Ⅲの報告	保育実習Ⅲの実習成果と課題について、発表や意見交換を行い、保育士としての職責や専門性、自己課題を明確化する。			
15	実習の総括と課題の明確化	施設保育士の専門性等について考えや意見を交換し、学校卒業後、保育現場の保育士として子どもにどのように関わっていくのか等について考える。			
【成績評価の方法と基準】					
課題提出(指導案・プロフィール・その他の提出物)70点、受講態度20点、配布資料の整理10点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし。					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 前期	専門科目	選択必修	2単位 90時間	授業形態(実習)
科目名	保育実習Ⅱ(保育所)	担当	江良 愛子(実務経験者) 佐藤 みつよ(実務経験者) 渡邊 砂子		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務 幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
保育実習ⅠA(保育所)での学びを踏まえて保育所で10日間の実習を行う。指導計画に基づいた責任実習を行うことにより保育実践力を高めるとともに、保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理等について理解を深める。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の役割や機能、保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践を通して理解する。 ・子どもの観察や関わりの視点を明確にすることで、保育の理解を深める。 ・既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を深め、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。 ・保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価について、実習を通して理解を深める。 ・実習における自己の課題を明確化する。 					
【授業の計画】			【内容】		
○選択した保育園で実習する。 ○実習期間は10日間 令和3年7月16日(金)～7月29日(木)			○保育所の役割や機能の具体的展開		
			・養護と教育が一体となって行われる保育		
			・保育所の社会的役割と責任		
			○観察に基づく保育の理解		
			・子どもの心身の状態や活動の観察		
			・保育士等の援助や関わり		
			○指導計画の作成・実践・観察・記録・評価		
			・作成した指導計画に基づく保育の実践と評価		
			○「環境を通して行う保育」の理解		
			・「生活や遊びを通して総合的に行う保育」の理解		
			○子どもの保育及び保護者への支援と地域社会との連携		
			・入所児及び地域の保護者等に対する子育て支援		
			・関係機関や地域社会との連携・協働		
○多様な保育の展開と保育士業務及び職業倫理の理解					
○自己課題の明確化					
【成績評価の方法と基準】					
実習園の指導者が評価した評価70点、実習日誌・感想文等の提出物30点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』フレーベル館、2018					
【備考】					
実習は乳幼児と共に過ごしながらその本質に触れる貴重な機会なので、意欲的・主体的に取り組み学びを深めましょう。 社会人としてのマナーも注目されますので留意してください。					

基本情報	2年 前期	専門科目	選択必修	2単位 90時間	授業形態(実習)
科目名	保育実習Ⅲ(施設)	担 当	安東 和子 梶原 礼(実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
<p>保育所以外の児童福祉施設での保育実習を10日間実施する。保育実習Ⅰを踏まえ、自己の実習課題を明らかにするとともに、地域における施設の役割や機能、保育士の職務内容や職業倫理等、実践にをとおして理解する。実習日誌を作成し、実習に係る自己評価と省察に取り組む。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・既習の教科目や保育実習Ⅰを踏まえ、児童福祉施設等の役割や機能について実践をとおして理解する。 ・家庭と地域の生活実態にふれて、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。 ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践をとおして理解する。 ・実習における自己の課題を明確にする。 					
【授業の計画】			【内 容】		
<p>① 実習期間 令和3年7月16日(金)～令和3年7月29日(木)</p> <p>② 実習場所 ・児童養護施設 ・障害児入所施設 ・乳児院 ・母子生活支援施設 ・児童発達支援センター ・生活介護施設 等</p>			<p>1 施設の役割と機能</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設の役割と機能 ② 施設での生活と一日の流れ ③ 利用者の自立支援にむけた取組 <p>2 施設における支援の実際</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 受容し、共感する態度 ② 個人差や生活環境に伴う子ども(利用者)のニーズの把握、子ども理解 ③ 個別支援計画の作成と実践 ④ 子ども(利用者)の家族支援とその対応 ⑤ 多様な専門職との連携・協働 ⑥ 地域社会との連携・協働 <p>3 施設保育士の多様な業務職業倫理</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設保育士の専門性や役割、業務内容 ② 施設職員間の役割分担と職業倫理 ③ 施設保育士の職業倫理 <p>4 保育士としての自己課題の明確化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 実習日誌の記録と指導者からの助言 ② 実習日誌の記録に基づく省察・自己評価 ③ 自己課題の明確化 		
【成績評価の方法と基準】					
<p>実習園の指導者が評価した評価票70点、実習日誌の内容・レポート・感想文等の提出物30点の100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。</p> <p>評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 通年(前期)	専門科目	必修	通年2単位 前期30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実践演習	担当	江良 愛子(実務経験者) 幼稚園に教諭及び副園長として勤務		
【授業の概要】					
グループワーク、ロールプレイング等の授業方法を活用し、これまでの自らの学びを振り返ったり、保育に関する現代的課題について考察したりし、自己課題を明確化しながら保育実践の基礎的な資質・能力を定着させる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する専門的知識及び技術を身に付けたか、これまでの自らの学びを振り返り把握する。 ・保育に関する現代的課題について現状分析し、保育者・保育現場に求められることについて考察する力を身に付ける。 ・自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内容】		
1	保育実習Ⅰでの学びや課題	保育者に求められる知識・技術(6項目)の視点から振り返る。			
2	これまでの学修の振り返り 履修カルテに記載	保育者になるにあたっての自己課題と自己の強みを見つける。			
3	環境を通して行う保育 —DVD 実践編①—	乳幼児の健やか育ちを促す遊びの環境づくりについて学ぶ。			
4	環境を通して行う保育 —DVD 実践編②—	食事や午睡場面での環境づくりについて学ぶ。			
5	環境構成の基本 —DVD— 理論編①	環境構成の意義や保育者の役割について学ぶ。			
6	環境構成の基本 —DVD— 理論編②	環境構成の方法について学ぶ。			
7	子どもの内面理解と援助①	遊びの事例を通して内面理解に立った援助について考える。			
8	子どもの内面理解と援助②	遊びの事例を通して内面理解に立った援助について考える。			
9	子どもの内面理解と援助③	遊びの事例を通して内面理解に立った援助について考える。			
10	エピソード記録①	遊び場面のエピソード記録を読んで書き方を学ぶ。			
11	エピソード記録②	保育実習でのエピソード記録を書く。			
12	エピソード記録③	保育者や子どもの言動から考察、発表し学び合う。			
13	自分の「強み」①	現在の「私」を知る、未来の「私」を想像する、自分のよさを知る。			
14	自分の「強み」②	自分の「強み」を保育実践の中でどのように活かせるか書く。			
15	まとめ	保育実習での自己課題を明確にし、シートに書く。			
【成績評価の方法と基準】					
<p>前学期定期考査70点、課題の提出20点、授業への積極的取組等10点により判断する。前学期、後学期の成績を平均し通年で評価。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。</p> <p>評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備考】					
将来の保育実践者として、自己課題を常に意識しながら自主学習に取り組み、保育実践力の向上を目指しましょう。					

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	教育原理	担 当	梶原 礼 (実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
教育の意義や目的、歴史や思想、保育実践者としての教育に対する考え方などについて教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の意義や目的を理解する。 ・教育の思想と歴史的変遷、諸外国の教育事情などについて学び、教育に関する基礎的な知識を身につける。 ・教育実践のさまざまな取り組みや教育課題について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	教育の意義	保育者になるための教育、人間形成と教育			
2	教育の目的	教育目的の設定、保育現場の教育目的と目標			
3	乳幼児期の教育の特性	乳幼児期の発達の特徴、幼児教育で育む「資質・能力」			
4	教育と子ども家庭福祉の関連性	児童福祉法と保育士、子ども・子育て支援			
5	人間形成と家庭・地域社会	教育基本法や保育所保育指針と家庭・地域社会			
6	諸外国の教育思想	諸外国の思想や歴史			
7	諸外国の教育の歴史	諸外国における公教育の発展			
8	日本の教育思想・歴史	日本における教育、幼児教育の歴史			
9	子ども観と教育観	日本における近代教育の展開			
10	教育制度の基本	教育の制度化の起こり、教育に関する権利			
11	教育の法律と行政	教育を規定する法律			
12	諸外国の教育制度	諸外国の教育問題			
13	教育実践の基礎	カリキュラム、保育方法、計画と評価			
14	さまざまな教育実践	これからの教育実践の課題			
15	生涯学習社会における教育の現状と課題	生涯学習概念の展開、幼児教育の質の向上			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、提出物・受講態度40点により判断する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
矢野誠滋朗・北野幸子(編)『新・基本保育シリーズ②教育原理』中央法規、2019					
【参考書】					
随時指示する。					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	子ども家庭支援論	担 当	上鶴 勝之 (実務経験者)		
		児童養護施設の所属長として勤務			
【授業の概要】					
<p>子どもの育ちや家庭に対する支援を充実させるために、家族・家庭の意義を把握し、子育ての場としての家庭が抱える不安や課題などについて理解をする。また、社会的養護における家庭や保護者への関わり方について理解し、保育士として保護者支援、家庭支援の在り方について考える。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士として様々な家族・家庭に関わるときに求められる適切な配慮として、受容的な関わり、自己決定の尊重、秘密保持などについて理解する。 ・多様な支援の展開・関係機関との連携について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子ども家庭支援の意義と必要性	子ども家庭支援の位置づけ、家族による子育てを支援する制度や民間活動の概要			
2	子ども家庭支援の目的と機能	児童福祉法、保育所保育指針、幼稚園教育要領に示されている子ども家庭支援の目的と機能			
3	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	子ども家庭福祉の施策体系やその計画的推進、子ども・子育て支援新制度創設に至る経緯と新制度の枠組み、実施体制			
4	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	子育て家庭の福祉を図るための社会資源の活用と課題と展望			
5	保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義	保育の専門性と相談援助の関連性。専門性を活かした子育て支援の在り方			
6	子どもの育ちの喜びの共有	子どもの育ちの喜びを共有する意味			
7	保護者および地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援	地域の子育て家庭に取り巻く環境の把握と保護者に対する支援			
8	保育士に求められる基本的態度	ワーカーがとるべき7つの基本的態度(バイステックの7原則)			
9	家庭の状況に応じた支援	保育者に求められる役割と見落としやすい家族の状況			
10	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力	地域の多様な資源と自治体・関係機関との連携・協力に関する基本事項と実際の在り方			
11	子ども家庭支援の内容と対象	子ども家庭支援の対象、内容とアプローチの方法、そして支援の携帯			
12	保育所等の利用する子どもの家庭への支援	保育にたずさわる専門職に求められる子どもの家庭への支援 保育ソーシャルワークの視点			
13	地域の子育て家庭への支援	地域で子育てをしている家庭への支援、保育所における地域の子育て家庭に対する支援			
14	要保護児童およびその家庭に対する支援	要保護児童の現状を理解、児童・家庭への支援のあり方			
15	子育て支援に関する課題と展望	子育て支援のニーズの多様化、子育て支援プログラムの導入・課題			
【成績評価の方法と基準】					
<p>後学期定期考査80点、授業への取組み20点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>児童育成協会(監)松原康雄・村田典子・南野奈津子(編)『新・基本保育シリーズ⑤ 子ども家庭支援論』中央法規、2019</p>					
【参考書】					
<p>特になし</p>					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	子ども家庭支援の心理学	担 当	佐藤 みつよ (実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
生涯発達(人の誕生から死に至るまでの心身の構造・機能に生じる変化)や子どもの精神保健について心理学的知見を中心に説明する。また、子育て家庭についても、発達の特徴や時代的背景などを包括的にとらえられる視点が持てるようにしていく。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 ・家族・家庭の意義や機能、子育て家庭をめぐる現代社会の社会状況と課題を理解する。 ・子どもの精神保健とその課題について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	乳児期の発達	胎児期・乳児期の発達の特徴、言葉の発達の基盤			
2	幼児期の発達	幼児期の発達の特徴、初期経験の重要性			
3	学童期の発達	学童期の発達の特徴、自己の発達、教育の諸問題			
4	青年期の発達	青年期の発達の特徴、対人関係の発達			
5	成人期・中年期の発達	成人期・中年期の発達の特徴、中年期における危機			
6	高齢期の発達	高齢期の発達の特徴、高齢者を取り巻く社会状況			
7	家族・家庭の意義と機能	家族や家庭の概念、家族の意義と機能			
8	家族関係・親子関係の理解	家族のライフサイクル、夫婦や親子に関する理論			
9	子育ての経験と親としての育ち	親の意識や心理、園における子育て支援			
10	子育てを取り巻く社会状況	子育てをめぐる社会的状況、要保護児童と家庭への支援			
11	ライフコースと仕事・子育て	ライフコースの概念、ライフコースの歴史的変遷			
12	多様な家庭とその理解	多様化する家庭のありよう、多様化する家族関係			
13	特別な配慮を要する家庭	家族の機能不全、トラウマインフォームド・ケア			
14	子どもの生活・生育環境とその影響	発達に応じた環境、特殊な環境で育つ子どもの状況			
15	子どものこころの健康にかかわる問題	子どものこころの健康、発達障がい			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、提出物・受講態度40点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
白川佳子・福丸由佳(編)『新基本保育シリーズ⑨子ども家庭支援の心理学』中央法規、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル、2018 相良順子・村田カズ・大熊光穂他(著)『保育の心理学[第3版]子どもたちの輝く未来のために』ナカニシヤ出版、2018					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	子どもの理解と援助	担 当	佐藤 みつよ (実務経験者)		
幼稚園に教諭として勤務					
【授業の概要】					
子どもの発達や学びに関する心理学的知見を、保育者になった際に実践で使うことができるよう、グループワークでの学び合い等をおし、理解させる。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 ・子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解するための基本的な考え方や具体的方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育における子ども理解の意義	保育者の仕事と子ども理解、子ども理解の位置づけ			
2	子どもに対するかかわりと共感的理解	共感的理解の意味、受容や共感的理解を示す表現技法			
3	子どもの生活や遊び	乳幼児の基本的な生活習慣の獲得、乳幼児期の遊び			
4	保育の人的環境としての保育者と子どもの発達	子どもを取り巻く人的環境とそのあり方・とらえ方			
5	子ども相互のかかわりと関係づくり	仲間とかかわるきっかけ、かかわりにおける保育者の役割			
6	集団における経験と育ち	遊び集団の成立過程、集団遊びにおける保育者の援助			
7	発達における葛藤やつまずき	いざこざの発達の变化、自我の発達			
8	保育の環境の理解と構成	子どもと環境、保育者と環境、環境構成の原則			
9	環境の変化や移行	さまざまな環境の変化や移行の場面とその影響要因			
10	子ども理解のための観察・記録と省察・評価	子ども理解の方法、観察・記録の方法、省察・評価の役割			
11	子ども理解のための職員間の対話	保育における対話と協働、保育カンファレンス			
12	子ども理解のための保護者との情報共有	保護者との情報共有の意義、情報共有の方法			
13	発達の課題に応じた援助とかかわり	「個人差」と「発達過程」の定義、発達の最近接領域			
14	特別な配慮を要する子どもの理解と援助	特別な配慮を要する子ども、インクルーシブ保育			
15	発達の連続性と就学への支援	発達と学びの連続性、保幼小連携			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査50点、提出物・受講態度50点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
清水益治、森俊之(編)『新基本保育シリーズ⑩子どもの理解と援助』中央法規、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル、2018					
【備 考】					

基本情報	2年 通年(後期)	専門科目	必修	通年2単位 後期30時間	授業形態(演習)
科目名	子どもの食と栄養	担当	谷野 真弓		
【授業の概要】					
<p>子どもの発育・発達と食生活の関係、特別な配慮を要する子どもの食への対応について解説する。また、食生活環境の変化にともなう子どもの食の問題を取り上げ、小児期からの食育の重要性についても理解させる。「楽しく食べる子ども」を目標に、食育の事例研究から媒体作成、発表へと、食育の実践に必要な演習を展開する。</p>					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発育・発達に応じた栄養と食生活について理解する。 ・食育の重要性を理解し、それを実践するための基本的な能力を身につけることができる。 ・特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
16	学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活①	学童期・思春期の成長と発達、食生活の特徴			
17	学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活②	妊娠期や授乳期の栄養と食生活、「妊産婦のやせが次世代の健康に及ぼす影響」より自己の食生活を考える			
18	保育における食育の意義・目的と基本的考え方	子どもの食生活の問題点、食育推進のための体制づくり、食育基本法、保育所等における食育の考え方			
19	食育の内容と計画および評価①	食育の内容と計画および評価、食育のための環境			
20	食育の内容と計画および評価②	保育所における食育実践事例の調査、食育実践計画①			
21	食育の内容と計画および評価③	食育実践計画②、食育媒体作成①			
22	食育の内容と計画および評価④	食育媒体作成②			
23	食育の内容と計画および評価⑤	食育媒体作成③			
24	食育の内容と計画および評価⑥	食育実践発表①、意見交換			
25	食育の内容と計画および評価⑦	食育実践発表②、意見交換			
26	地域や家庭と連携した食育の展開	地域の関係機関との連携や職員間の連携、食生活に関する保護者への支援			
27	家庭や児童福祉施設における食事と栄養	家庭や児童福祉施設における食事と栄養			
28	特別な配慮を要する子どもの食と栄養①	疾病および体調不良の子どもへの対応			
29	特別な配慮を要する子どもの食と栄養②	食物アレルギーのある子どもへの対応①			
30	特別な配慮を要する子どもの食と栄養③	食物アレルギーのある子どもへの対応②、障害のある子どもへの対応			
【成績評価の方法と基準】					
<p>後学期定期考査60点、授業態度25点、課題提出15点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評価は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
<p>児童育成協会(監)堤ちはる・藤澤由美子(編)『新・基本保育シリーズ⑫ 子どもの食と栄養』中央法規、2019</p>					
【参考書】					
<p>厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018</p>					
【備考】					

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	2単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	保育の計画と評価	担当	江良 愛子 (実務経験者)		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務					
【授業の概要】					
子ども理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)、全体的な計画及び具体的な指導計画の作成の基本について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の内容の充実と質の向上に資する保育の計画及び評価について理解する。 ・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義と方法を理解する。 ・子どもの理解に基づく保育の過程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)について、その全体構造を捉え、理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	保育における計画の意義①	計画の意義や必要性 主体性と計画性及び計画の要点の理解			
2	保育における計画の意義②	全体的な計画作成の基本とポイントについての理解			
3	保育における計画の意義③	PDCAサイクルによる保育の質の向上、振り返りの重要性の理解			
4	日本におけるカリキュラムの基礎理論	カリキュラムの種類及び歴史についての理解			
5	子ども理解に基づく保育の循環	カリキュラム・マネジメントの必要性やアクティブ・ラーニングの理解			
6	保育所保育指針の改定内容	規範性を有する基準としての性格、資質・能力、10の姿の理解			
7	全体的な計画の作成の基本原則と方法	全体的な計画の作成の基本、作成手順について			
8	指導計画の作成 (p90～p101 P118～p128)	指導計画の必要性和留意事項、長期・短期の指導計画			
9	保育の評価	評価の意義、記録の目的・意義と内面理解			
10	0歳児の指導計画	3つの視点と5領域、 指導計画作成の留意点			
11	3歳未満児の指導計画	個人差・家庭との連続した生活を考慮した指導計画について			
12	3歳児・4歳児の指導計画	指導計画作成の基本①②③についての理解			
13	5歳児の指導計画	子どもの姿(I期～4期)、指導計画(指導案)の考え方			
14	小学校との接続	子どもの育ちを小学校へつなぐ「要録」作成の意味			
15	まとめ	column(1～12)からの学び			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査70点、授業への積極的取り組み10点、課題提出10点、学習ノートの整理等10点により判断する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点満点 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協議会(監)千葉武夫・那須信樹(編)『新保育基本シリーズ⑬教育・保育カリキュラム論』中央法規、2019 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	器楽Ⅳ	担当	渡邊 砂子 関 純子 米田 昌子 田北 嘉奈子 安部 千鶴		
【授業の概要】					
保育に必要な音楽教育のために、テキストを使った個人授業を行い、ピアノの演奏技術を教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に求められるピアノの演奏形態と音楽表現の基礎を身に付ける。 ・子どものうたを曲の表情に合わせて表現する力を身に付ける。 ・マーチやスキップなど、子どもの動きに合わせて演奏する力を身に付ける。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	バイエル:ホ長調の音階、子どもとうたおう「アイアイ」	ホ長調のスケールとカデンツを理解して弾く			
2	バイエル:48番、「小さな世界」、レパートリー「間奏曲」	アウフタクトの曲の拍の感じ方、フレーズによる伴奏の変化			
3	バイエル:48番、「ありがとう・さようなら」	下属調への転調、伴奏での雰囲気づくりを感じる			
4	バイエル:イ短調の音階、「小ぎつね」	イ短調のスケールとカデンツを理解して弾く			
5	バイエル:イ短調の音階、「ひらいたひらいた」	自然的、旋律的、和声的短音階を理解して弾く			
6	バイエル:イ短調の音階、「子もり歌」「あめふりくまの	付点と3連符の弾き分け、物語のある曲を弾く			
7	バイエル:54番	平行調への転調、16分音符を綺麗に弾く			
8	バイエル:54番、「げんこつやまのためきさん」「ヤキイモグーチャーパー」	弾む付点のリズム、左手の跳躍			
9	バイエル:54番、「ちいさい秋みつけた」	スラーをかけた16分音符、イ短調の和音進行			
10	バイエル:55番、「うさぎ」	8分の6拍子の曲、平行調への転調			
11	バイエル:55番、「かくれんぼ」	大きなフレーズを途切れさせないように弾く			
12	バイエル、「はるがきた」	アルベルティのバスの復習と右手のフレーズ			
13	バイエル、「はるがきた」「ゆうやけこやけ」	左手保持音の復習、情景を思い浮かべて表現する			
14	バイエル、「いぬのおまわりさん」	スラーとスッカート、装飾音符			
15	バイエル、子どもとうたおう、レパートリー	試験の課題曲を中心に2年間で学んだ内容を振り返る			
【成績評価の方法と基準】					
<p>課題曲で行う実技試験70点、授業時の実技評価及び授業態度30点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
音楽Ⅰ研究室(編)『こどもと歌おう！(新版)幼児とともに』聖徳大学出版部、2011 音楽Ⅰ研究室(編)『ピアノレパートリー』聖徳大学出版部、2011 音楽Ⅰ研究室(編)『新バイエル』聖徳大学出版部、2017					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					

基本情報	2年 通年(後期)	専門科目	必修	通年2単位 後期30時間	授業形態(演習)
科目名	障害児保育	担当	安東 和子		
【授業の概要】					
障害児保育の対象となる子ども達の障害の状態等は多様化の傾向にある。また、関係法令の改正等、子ども達を取り巻く環境は急激に変化している。そこで、講義や演習、協議等をとおして子ども達の障害の状態への理解と小学校への円滑な移行に向けた取組について教授する。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害のある子ども達の保育について理解する。 ・子ども一人一人の特性や心身の状態等に応じた援助や配慮について理解する。 ・保育現場における特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解するとともに、家庭への支援や関係機関との連携の現状と課題について理解する。 					
【授業の計画】			【内容】		
16	指導計画及び個別の支援計画の作成②	個別の支援計画や指導計画を作成後の取り組みを理解し、個別の支援計画や指導計画の課題について考える。			
17	発達をうながす生活や遊びの環境と子ども同士のかかわり・育ち合い①	保育者が考慮しなければならない子どもの生活と遊びの発達と環境、障害児保育の形態等について学ぶ。			
18	発達をうながす生活や遊びの環境と子ども同士のかかわり・育ち合い②	子どもどうしのかかわり・育ち合いのための環境構成、障害児保育を行う際の留意事項について考える。			
19	障害児保育における子どもの健康と安全①	障害児を保育するに当たっての健康状態の把握と安全管理についての基本を学ぶ。			
20	障害児保育における子どもの健康と安全②	子どもの障害の状態や健康・安全上の問題、保育者が行う医行為等についての条件を整理し、確認する。			
21	職員間の連携・協働①	保育所の職員と保護者、専門機関などとの連携・協働について学ぶ。			
22	職員間の連携・協働②	発達障害のある子どもへ関係者の連携・協働について学ぶとともに、障害のある子どもの保育の変遷を確認する。			
23	保護者に対する理解および保護者間の交流や支え合いの意義と支援①	障害のある子どもの保護者や家庭への支援の姿勢や障害の受容について学ぶ。			
24	保護者に対する理解および保護者間の交流や支え合いの意義と支援②	保護者同士の交流や支え合い、きょうだいへの支援について理解を深める。			
25	地域の専門機関との連携①	障害のある子どもへの支援としての専門機関との連携の内容や方法について学ぶ。			
26	地域の専門機関との連携②	地域における関係機関とその機能、保育所における連携の現状と課題について理解を深める。			
27	小学校等との連携①	小学校への就学指導にかかる手続の流れ、入学後の支援等の基本的事柄について学ぶ。			
28	小学校等との連携②	小学校等への就学後の支援の実際を学ぶことをとおして、移行支援の現状や課題、可能性について学ぶ。			
29	福祉・教育における現状と課題①	障害に対する理念の変化、障害児を取り巻く制度の変化について学ぶ。			
30	福祉・教育における現状と課題②	障害のある子どもを取り巻く地域の関係機関のネットワークや子育て支援事業等について理解を深める。			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査50点、課題提出・配布資料の整理40点、受講姿勢10点 前学期・後学期の成績を平均し、通年で評価。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
児童育成協会(監)西村重稀・水田敏郎(編)『新基本保育シリーズ⑪ 障害児保育』中央法規、2019					
【参考書】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【備考】					

シ ラ バ ス

令和3年度

大分保育専門学校

基本情報	2年 後期	専門科目	必修	1単位 30時間	授業形態(講義)
科目名	子育て支援	担 当	江良 愛子 (実務経験者)		
		幼稚園に教諭及び副園長として勤務			
【授業の概要】					
少子化社会における子育ての現状や子育て支援の意義・基本を理解するとともに、子育て支援の内容、方法、技術について演習を通して実践的、協働的に理解を深める。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援について、その特性と展開を具体的に理解する。 ・保育士の行う子育て支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	子育て支援の制度的な基盤		児童福祉法・保育指針における子育て支援の位置づけ		
2	子育て支援の意義		社会的背景の把握と保育所等が果たす役割		
3	子育て支援の基本的価値・倫理		最善の利益の尊重、保護者の自己決定、個別の支援について		
4	子育て支援の基本的姿勢		保護者との相互理解、プライバシーの保護と秘密保持等について		
5	子育て支援の基本的技術		コミュニケーション技法をもとにしたロールプレイによる学び合い		
6	園内外との連携と社会資源		他職種、地域子育て支援事業、子育て支援者との連携について		
7	記録・評価・研修		記録作成時の文章の書き方、アセスメントシート等について		
8	日常会話を活用した子育て支援		送迎時やトラブルの際のやりとりのロールプレイによる学び合い		
9	文書を活用した子育て支援		連絡帳や園(クラス)だより等の書き方の基本の理解		
10	行事などを活用した子育て支援		子育て支援の視点からみる保育参加、様々な行事の意義		
11	環境を活用した子育て支援		子育て支援にふさわしい物的、人的環境のあり方		
12	地域子育て支援拠点における支援		主なサービス内容と支援方法、保護者の心理等の理解		
13	入所施設における子育て支援		利用する保護者の傾向、支援の方法等についての理解		
14	通所施設における子育て支援		子育て支援の基本、保護者へのかかわりの姿勢について		
15	まとめと今後の課題		学びの振り返りと今後の課題		
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査70点、課題の提出10点、授業への積極的取組10点、学習ノートの整理等10点により評価する。100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
二宮祐子(著)『「子育て支援」15のストーリーで学ぶワークブック』 萌文書林、2018 厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
テキスト「さらに深く学びたい人におすすめの本」参照					
【備 考】					
子育て支援に関する新聞記事や書物を読んで知識を広げ、自らの実践力を高めていきましょう。					

基本情報	2年 通年(後期)	専門科目	必修	通年2単位 後期30時間	授業形態(演習)
科目名	保育実践演習	担 当	江良 愛子 (実務経験者)		
幼稚園に教諭及び副園長として勤務					
【授業の概要】					
グループワーク、ロールプレイング等の授業方法を活用し、これまでの自らの学びを振り返ったり、保育に関する現代的課題について考察したりしながら自己課題を明確化し、保育実践の基礎的な資質・能力を定着させていく。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する専門的知識及び技術、責任感、判断力、倫理観、社会性や対人関係能力等が習得されたか、自らの学びを振り返り把握する。 ・保育実習での体験や情報の収集等に基づき、保育に関する現代的課題について考察する力を習得する。 ・自己の課題を明確化し、保育実践に際して必要となる基礎的資質・能力の定着をはかる。 					
【授業の計画】			【内 容】		
16	実習の振り返りと自己課題の確認	実習の成果	履修カルテをもとに自己評価		
17	自己課題を克服するための学習計画	自己課題に向けてのPDCAサイクル及び卒業までの学習計画			
18	実習場面のエピソード記録	エピソード記録から保育者の援助や子どもの言動について考察			
19	保育士の役割や職務内容	実習を通しての自らの学びを振り返り、発表、学び合い			
20	保育職における「使命感」「責任感」	一つの命を預かる責任・未来の大人を育てる使命についての理解			
21	保育職における「誠実」「公平」「責任感」	事例をもとにロールプレイングを通しての学び合い			
22	子どもの最善の利益の尊重	倫理綱領の理解、ロールプレイングを通しての学び合い			
23	保育職における「社会性」	保育者に必要な社会的技能についてのグループワーク			
24	保育職における対人能力	子どもや保護者・同僚との信頼関係構築に関わる実践力の向上			
25	保育の今日的課題(幼児教育の重要性等)	グループごとにテーマ及びテーマ設定の理由について考え合う			
26	・グループワーク	調べ学習 (参考図書を読む、インターネット検索等)			
27	・グループワーク	発表内容の構想を立てる			
28	・グループワーク	レポートをまとめる			
29	・発表	グループごとの発表、意見交換			
30	成長し続ける保育者になるために	今後に向けての課題や未来に向けての決意を書く			
【成績評価の方法と基準】					
後学期定期考査60点、発表やグループワークへの取組20点、課題の提出等20点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D					
【テキスト】					
厚生労働省(編)『保育所保育指針解説』フレーベル館、2018					
【参考書】					
特になし					
【備 考】					
将来の保育実践者として、自分自身の課題を意識しながら主体的、協働的に学びましょう。					

基本情報	2年 後期	教養科目	必修	1単位 30時間	授業形態(演習)
科目名	フラワーデザインⅡ	担 当	井上 礼子		
【授業の概要】					
身近にある日用品等を用いて日常的に花を飾る方法(アイデア、発想力、技術)を習得させ、幼児教育の花育に結び付ける。					
【授業の到達目標】					
<ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるものを工夫して、花や植物を毎日の生活に取り入れることができる創造的実践力を習得する ・季節行事に応じた飾り方、デザインを習得する 					
【授業の計画】			【内 容】		
1	植物採集	身近にある植物の観察と雑草の採集			
2	アレンジメント	採集した植物でまわるデザインのアレンジメントを制作			
3	〃	〃			
4	植物観察&採集	身近にある植物の観察と草の葉の採集			
5	野草あそび	採集した葉っぱで草バツタを制作			
6	ランプシェードを作る	和紙とドライフラワーでランプシェードを制作			
7	〃	〃			
8	アレンジメント	身近にあるもので花器を作り、作品を制作			
9	ガーデニング	ガーデニングの知識と技術の習得、寄せ植えの制作			
10	季節のデザイン クリスマス	季節行事に応じたデザインを制作			
11	季節のデザイン お正月	季節行事に応じたデザインを制作			
12	〃	〃			
13	〃	〃			
14	壁掛けの花	植物を飾る壁掛けを制作			
15	フラワーアクセサリー	造花と生花でコサージュを制作			
【成績評価の方法と基準】					
<p>制作技術70点、授業態度(積極性)20点、提出物等10点により評価する。 100点満点で評価し評価点60点以上を合格とする。 評定は、評価点80点以上 A 70点以上80点未満 B 60点以上70点未満 C 60点未満 D</p>					
【テキスト】					
オリジナルプリント					
【参考書】					
【備 考】					